

履修の手引

女子美術大学短期大学部

2023

目 次

建学の精神	3	大学改革支援・学位授与機構による 学位の取得について	29
短期大学部 造形学科 カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針)	3	□短期大学部 造形学科 (2023 年度入学生)	31
短期大学部 造形学科 ディプロマポリシー (学位授与の方針)	3	卒業条件	32
主要日程	4	共通科目	33
学籍コード	6	美術コース	37
出席番号	6	デザインコース	38
本学ポータルサイト「Active Academy」	6	専門科目	39
授業	7	□短期大学部 造形学科 (2022 年度入学生)	43
気象警報等による授業の休講	9	卒業条件	44
出欠席	10	共通科目 (A群～E群)	45
単位の基準	11	美術コース	50
単位修得の流れ	11	デザインコース	51
履修科目の登録	12	専門科目	52
試験	12	□教育職員免許状取得 (2023年度・2022年度入学生)	56
学習の評価と GPA 制度	16	□短期大学部 専攻科	66
単位の授与	17	短期大学部専攻科履修方法	67
成績通知	18	本学ポータルサイト「Active Academy」 Web 履修登録の手順について	69
履修登録	19	Web レポート提出の手順について	84
単位の認定	22	Web 出欠登録の手順について	87
科目等履修生	26	Q & A	89
女子美術大学芸術学部 3年次編入学について	27		
短期大学部専攻科について	29		

本書に記載されたスケジュールは変更になる場合があります。(2023年3月10日時点)

表紙デザイン：DESIGN ROOM 所属

田谷 初音

〈CONCEPT〉

「女子美生が伸び伸び個性を発揮しながら、素敵な実りがありますように」という思いを込めてデザインしました。女子美生が成長する姿を「女性」や冬の寒さに耐え花を咲かすことから来ている「忍耐、辛抱」などの意味がある桃の実で表しています。人によって吸収することも、表現することも様々だと思います。1年後にどんな実りがあるだろう?想像すると新学期の授業も楽しみです。

建学の精神

「女子美」の名で知られる本学園は、女性に対して高等教育機関における美術教育への門戸が開かれていなかった明治33（1900）年に、「**芸術による女性の自立**」、「**女性の社会的地位の向上**」、「**専門の技術家・美術教師の養成**」を目指して、美術教育をおこなう学校として創立しました。

以後、今日までの120年にわたる長い歴史の間に、画壇・デザイン界をはじめ、教育界などあらゆる分野に優れた人材を輩出するとともに、社会で自立できる女性たちを送り出してきました。

現代においても、知性と感性と技能を併せもち、美術の専門を活かして社会的、経済的に自立できる人材の育成を、下記の教育理念のもとにおこなっています。

短期大学部 造形学科 カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

共通科目

以下の教育課程編成の分類毎にそれぞれの設定する能力を養成する科目を配置します。

- ・多様性が尊重される社会において、ジェンダー、国際社会と日本、自然環境と人間、芸術について広く学び自己理解をすることで、社会人にふさわしい考え方や幅広い教養を養う科目を配置する。
- ・芸術的理論と技法を活用し、自分の未来像（キャリア）をデザインし、生涯にわたり広く社会に貢献できる主体的な実践力、マネジメント力、協働する力を養う科目を配置する。
- ・美学、美術史、色彩や図学など、芸術分野における基礎力、芸術的感性を培い、独創性を高めて具現化することのできる創造的思考力・判断力を養う科目を配置する。
- ・グローバル社会において多様な他者の文化的背景を理解し、自身の創作や考えについての確に伝えるコミュニケーション能力を養う科目を配置する。

専門科目

現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的に捉えたカリキュラムとなっており、本人の実技体験を通して、専門分野を絞り込むことができる選択制を取り入れています。1年次前期は専門科目を限定せず、13種類の科目から4科目を自由に選択します。美術、デザインの基礎を学ぶとともに、自己の表現の幅を拡げることを目的としています。1年次後期からは前期の体験をもとに美術コース、デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト）の各領域を選択、より専門性の高い知識や技術を集中的に修得しながら、自らの発想を表現することを学びます。2年次後期はそれまで培った知識、技術、表現力を基にして卒業制作に取り組みます。2年間の集大成として自己の発想、表現の可能性を追求し作品として成立させること、そして社会に対して発表することを学びます。

短期大学部 造形学科 ディプロマポリシー（学位授与の方針）

以下を身に付けたものに対して、学位を授与します。

- ・社会人にふさわしい教養、考え方を身につけている。
- ・美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができる。
- ・自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけている。
- ・美術、デザインの活動を通して、広く社会に貢献できる能力を身につけている。

主要日程

4月	
1	土
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土
30	日

5月	
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水

6月	
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金

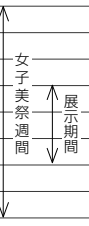
7月	
1	土
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土
30	日
31	月

8月	
1	火
2	水
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木

9月	
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土

※4月29日(土)、5月3日(水)～5月5日(金)の祝日について、講義時間帯開設科目は通常授業日とします。実技時間帯開設科目は所属研究室に確認してください。

10月	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月 (スポーツの日)
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月 創立記念日 ※通常授業日
31	火



11月	
1	水
2	木
3	金 (文化の日)
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木 (勤労感謝の日)
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木

12月	
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火 冬期休業 (~1月7日)
27	水
28	木
29	金
30	土
31	日

1月	
1	月 (元日)
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月 (成人の日)
9	火 授業再開
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水 試験・集中補講日
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月 後期授業終了
23	火 試験・集中補講日
24	水 試験・集中補講日
25	木 試験・集中補講日
26	金 春期休業開始
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水

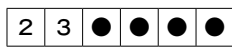
2月	
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日 (建国記念の日)
12	月 (振替休日)
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金 (天皇誕生日)
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木

3月	
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火 学位・修了証書授与式(予定)
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水 (春分の日)
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土
31	日

学籍コード

入学から卒業に至るまでシステム処理上の不変コードとして使用されるもので、頭2ケタが西暦下2ケタの入学年度となっています。学生証は身分証明書であり、試験や履修登録等で使用するので、常時携帯してください。

例：2023年度入学生



この番号が学籍コードです

出席番号

出席番号については入学時に配付されたアカウント通知書で確認してください。出席番号は試験答案やレポート、聴講票、その他諸届に所属、年次とともに記入することになりますので間違いのないようにしてください。

例. 1年 53番



この番号が出席番号です。

本学ポータルサイト「Active Academy」

本学は履修登録やシラバス閲覧、休講連絡、レポート提出、出欠、大学・研究室・授業担当教員から皆さんへの諸連絡のため、本学ポータルサイト「Active Academy」（以後、「ポータルサイト」と記載）を用意しています。ポータルサイトは学内外を問わず、アクセス・利用することが可能です。

利用方法については、P.69以降に記載しています。

授 業

1. 授業時間

<杉並キャンパス>

第1時限	9:20~10:50	2年次専門科目時間帯(造形学科) (実技時間帯)
第2時限	11:00~12:30	
第3時限	13:20~14:50	1年次専門科目時間帯(造形学科) (実技時間帯)
第4時限	15:00~16:30	
第5時限	16:40~18:10	
第6時限	18:20~19:50	*資格関連科目のみ

- 専門科目時間帯(実技時間帯)は各専門科目を行います。
- 専門科目時間帯(実技時間帯)は月~金曜日です(1年次は水曜日を除く。2年次は土曜日も含む)。

2. オンライン授業

一部の授業では、インターネットを利用した遠隔授業(オンライン授業)の形式で実施する場合があります。

遠隔授業の実施にあたっては、通信環境等の整備が不可欠になります。学生の皆さまには受講環境の整備(通信および端末)をお願いいたします。

オンライン授業に際してのマニュアル等は、随時「学生用オンライン授業サポートページ」(ガイダンス時に案内)にて公開致します。

3. 休 講

授業担当教員の都合等により休講する場合は、休講掲示板に掲示するとともに、履修者にポータルサイト等にて告知します。

※休講掲示・告知がなく30分経過しても授業担当教員が来ない場合は、休講措置をとることがありますので教育支援センターに問合せてください。

4. 補 講

補講は、突然の休講などで延期されていた授業を、後に実施する授業のことで、その授業を履修している学生は出席する必要があります。

原則、休講分の授業については、補講期間に補講を実施します。補講の日程についてはポータルサイトにて告知します。

補講日程はポータルサイトのトップ画面のMy Scheduleには反映されません。(通常の授業日のスケジュールが表示されています。)

集中補講日の時間割については、必ず別途配信を確認してください。

5. 欠席の扱い

欠席理由により、公欠扱いとなる場合、公欠扱いとならない場合があります。以下の表を参照し、手続きを行ってください。なお、表に記載された以外の理由については全て「欠席」となります。

公欠…該当する授業の回数と欠席回数を公欠回数分減らす措置です。
欠席を出席扱いにするものではありません。
 例：半期 15 回の授業で教育実習で 3 回欠席し、それ以外は全て出席した場合、12/12 回（出席回数 / 出席すべき授業回数）となります。

欠席理由	公欠扱い	手続き方法
①教育実習	○	掲示や事前指導の指示に従ってください。
②介護等体験	○	
③博物館実習	○	
④古美術研究(芸術文化専攻のみ)	○ ^{注1}	
⑤裁判員制度に伴う裁判参加	○	「裁判員等選任手続期日のお知らせ(呼出状)」の発行日から14日以内に、コピーを持参の上、教育支援センターに申し出てください。また、事後手続きとして、公判終了日から7日以内に、裁判所が発行する証明書を教育支援センターに提出してください。
⑥インターンシップの一部	△ ^{注2}	
⑦学校保健安全法 感染症の予防に関する規則 第19条により出席停止	○ ^{注3}	※下記【「学校保健安全法施行規則(感染症の種類)第18条」第一・二・三種疾患について】参照の上、手続きを行ってください。

(その他)

- ・忌引は公欠対象外です。
- ・大規模な自然災害で欠席が5日間以上に及ぶ場合は、交通機関の証明書等を持って教育支援センターに申し出てください。

注1) 授業期間に実施した場合のみ。

注2) 教務部長が特別に認めたもの(大学が認めた海外インターンシップ等)のみ公欠の対象とします。

注3) 【「学校保健安全法施行規則(感染症の種類)第18条」第一・二・三種疾患について】

以下の疾患に該当するとの医師の診断を受けた場合は、手続きが必要になります。

対象疾患：

第一種	治癒するまで入院治療が必要。 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウィルス)、中東呼吸器症候群(MERSコロナウィルス)、特定鳥インフルエンザ
第二種	飛沫感染する感染症で、生徒の罹患が多く、学校で流行しやすい。 インフルエンザ、麻疹(はしか)、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、百日咳、咽頭結膜熱(プール熱)、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	経口感染症とその他学校で流行しやすい感染症。 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症(O157等)、腸チフス、バラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症[溶連菌感染症、手足口病、伝染性紅斑、マイコプラズマ異型肺炎、流行性嘔吐下痢症(ウイルス性胃腸炎)、ウイルス性肝炎、伝染性眼疾患、伝染性皮膚疾患]

注4) 当面の間新型コロナウイルス感染症についても注3)の各種疾患と同様の取扱いとします。

(手続き方法)

1. 医務室に連絡

相模原キャンパス医務室：電話 042-778-6734

杉並キャンパス 医務室：電話 03-5340-4571

※登校支障期間中に試験やレポート提出がある場合、追試験、追レポート対象となる科目もありますので、以下にお問い合わせください。

教育支援センター相模原グループ：電話 042-778-6613

教育支援センター杉並グループ：電話 03-5340-4508

2. 「登校許可書」提出

治癒して登校する場合には、本学所定書式「登校許可書」を担当医に記入いただき、医務室へ提出してください。受診先の文書書式（感染症が治癒し感染の可能性の無い事、及び登校支障期間を明示した文書）でもかまいません。

「登校許可書」は本学ホームページからダウンロードしてください。

※欠席の証明についてはこの登校許可書で行いますので、それ以外の診断書等は不要です。

3. 「公欠願」提出

対象疾患に該当の場合は公欠となります。「公欠願」は教育支援センターにて手続きしてください。用紙は本学ホームページからダウンロードできます。

※ただし新型コロナウイルス感染症の場合、濃厚接触者として特定されるなど罹患していなくても隔離されるような状況が生じた際は受講が困難であることを証する書類をもって公欠と認めます。

6. 授業内容の録音・撮影について

本学では著作権保護等の観点より、あらかじめ許可されている場合を除いては、授業内容の録音・撮影を原則禁止しております。

7. 特別な配慮・支援を希望する学生へ

入学後、障がいや疾病で授業に関する特別な配慮・支援の必要が新たに発生した場合は、教育支援センター、学生相談室、医務室に申し出てください。

関係部署との事前相談や面談を経て、正式な申請を行うことで、配慮・支援が可能となる場合があります。なお、正式な申請の際には障がい者であることを証する書類や医師による診断書が必要になります。

ただし、本人の希望する配慮・支援内容全てには対応できない場合があることや、出席回数、成績評価基準の考慮は一切行わないことは、あらかじめご了承ください。

気象警報等による授業の休講

【杉並キャンパス】

気象庁より、23区西部に「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」の気象警報が発表された場合は以下のように取り扱います（注意報は該当しません）。

- ・午前6時の時点で発表されている場合は、午前の授業を休講とする。
- ・午前10時の時点で発表されている場合は、午後の授業を休講とする。

【休講の確認方法】

上記やその他の事由により授業を休講する場合は、以下にて告知しますので確認してください。

- ・学内掲示板
- ・本学ホームページ
- ・ポータルサイト
- ・本学代表電話 <杉並キャンパス> 03-5340-4500

出欠席

各授業では出欠席の確認を行います。

確認の方法は主に、パソコン・タブレットまたはスマートフォン端末を利用した出席確認（Web出欠登録）と、この他に聴講票を配布する方法があります。

注）教員によっては、上記以外での出欠席の確認があります。その場合は担当教員の指示に従ってください。

Web出欠登録の流れ

授業科目毎の出欠情報がActive Academyの「出席簿」へ自動で登録されるため、出欠状況をリアルタイムに確認・把握する事が可能となります。

出欠登録専用サイト
QRコード

①出欠登録専用サイトに接続します。

<https://aa.joshihi.net/attend/>

②出席する授業のパスワードを入力し、登録を完了します。

パスワードは授業時に指示があります。



※出欠登録専用サイトへのログインは、Active Academyに接続する際に使用するID・パスワードと同一です。

※詳細は、P.87の「Web出欠登録の手順について」を参照してください。

聴講票の記入例

聴 講 票	
〇〇年△△月××日	
火 曜日 第 3 時限	
科 目	哲 学
担 当	〇〇 先生
大 学 院	研究領域
学 部	表現領域
短期大学部 造形学科	デザイン コース
専攻科	コース
その他()	
氏 名	女子美 花子
年 次 番 号	2 年次012312番

女子美術大学
女子美術大学短期大学部

日付けを記入

授業の曜日・時限を記入

授業科目名・担当教員

所属を記入
短期大学部造形学科1年前期はコース名記載不要
付属高校生、科目等履修生等はこちらに記入

学籍コード

単位の基準

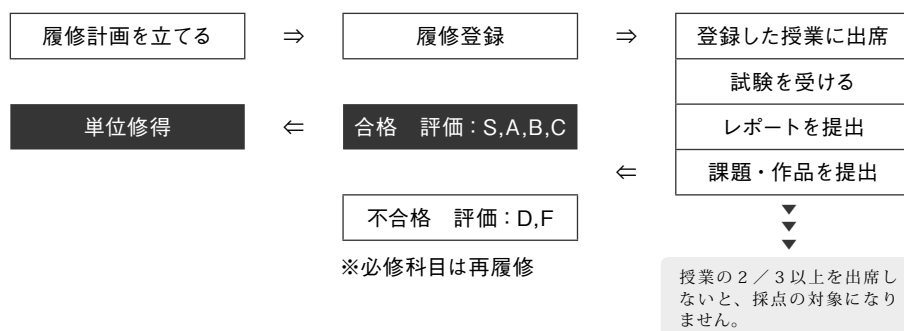
各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準により計算されます。なお、授業は前期15週、後期15週の通年30週とし、時間割の1時限は正味90分ですが単位計算上は2時間として計算しています。

講義	15時間の授業をもって1単位とする
演習	15～30時間の授業をもって1単位とする
実技・実習	30～45時間の授業をもって1単位とする

<単位のしくみ>

単位 (1単位=45時間の学修)	=	授業	+	自学自習 (予習・復習・課題等)
(例) 4単位の講義 (180時間)	=	30コマの授業 (60時間)	+	60コマ分の自学自習 (120時間)
2単位の講義 (90時間)	=	15コマの授業 (30時間)	+	30コマ分の自学自習 (60時間)
2単位の演習 (90時間)	=	15～30コマの授業 (30～60時間)	+	15～30コマ分の自学自習 (30～60時間)
2単位の実技 (90時間)	=	30～45コマの授業 (60～90時間)	+	0～15コマ分の自学自習 (0～30時間)

単位修得の流れ



履修科目の登録

1. 年度始めに配付された「時間割表」にもとづき、その年度に履修する授業科目すべて（一部の科目を除く）を、定められた期日までにポータルサイトで履修登録してください（P.19 参照）。
2. 履修する授業科目を選ぶ場合は、1 年次後期以降は自分の所属するコースに配当された授業科目の中から選んでください。他の授業を受講することはできません。
3. 共通科目のうち履修希望者が多い科目は、人数を制限することがあります。また必修科目等一部の科目を除き履修希望者数が 5 人未満の場合は、不開講となる場合があります。
4. 1 年間に履修登録できる単位の上限は 1 年次 42 単位、2 年次 49 単位です。ただし下記科目は除きます。

資格科目、専攻科開設科目

2023 年度入学生 アートを社会と生活に生かす「プロジェクト・スタディーズ」「インターンシップ 1～4」「国際芸術プログラム」「卒業制作」

2022 年度入学生 共通科目 E 群「サービス・ラーニング」「インターンシップ A～D」「国際留学プログラム」

試験

1. 試験の方法

試験には筆記試験、レポート（Web 提出含む）・作品の提出などがあります。

2. 試験の時期

筆記試験は担当教員の指示に基づいて実施します。

レポートの提出による試験は、授業担当教員の指示で各授業内に提出する場合と、各学期末に指定された日時・場所に提出する場合があります。

作品の提出による試験はレポートの提出による試験に準じて実施します。

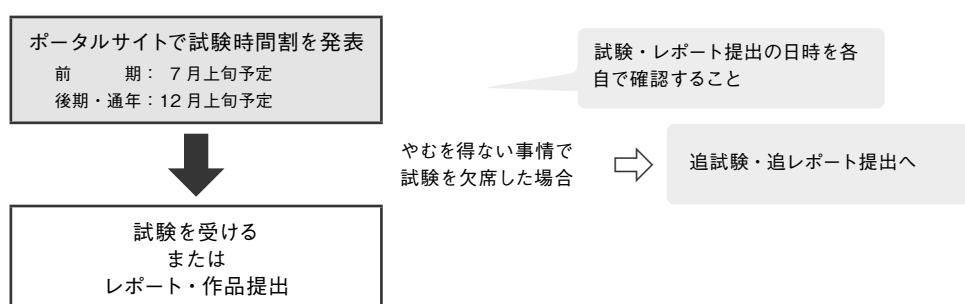
試験（筆記試験、レポート・作品提出）、補講、教室変更、その他試験に関する必要事項はポータルサイトにて告知します。

3. 受験の資格

次に該当する学生は原則として受験資格がありません。

- ・無登録者（授業科目の履修登録をしなかった者）
- ・出席が授業回数の 3 分の 2 に満たない者
- ・授業料を無断で滞納している者

4. 試験の流れ



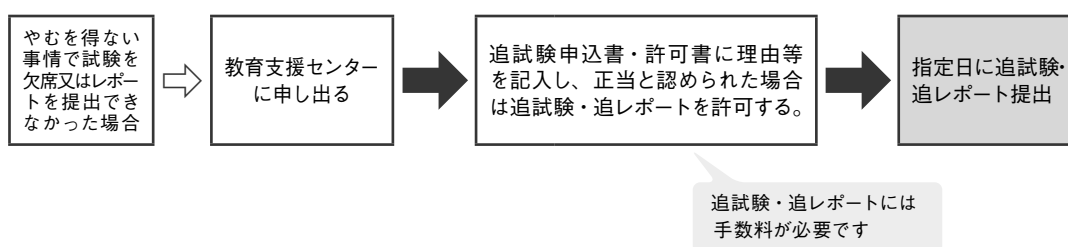
5. 追試験・追レポート

- ・次の①～⑦の理由またはその他のやむを得ない事情により、筆記試験を欠席した場合やレポート・作品提出日に提出できなかった場合、教育支援センターに追試験・追レポートを願ひ出ることができます。願ひ出が承認された場合、追試験を受験すること、レポート・作品を追レポートとして提出することができます。

追試験・追レポート受験のための理由
① 病気（診断書・医療機関の領収書を要する）
② 交通事故・遅延（相当証明書を要する）
③ 冠婚葬祭（該当する催しの招待状等を要する）
④ 就職試験（企業の証明を要する）
⑤ 教員採用試験（教職課程の承認を要する）
⑥ 公欠扱いとなるもの（教育実習・介護等体験・博物館実習など） P.8 参照
⑦ 天災

追試験受験・追レポート提出が認められるか否かは、前もって教育支援センターで確認してください。試験日時の勘違い、寝坊等の本人の不注意や、アルバイト、旅行等の試験放棄は対象になりません。

- ・追試験・追レポートの申込み期間は掲示にて告知します。願ひ出る時は、試験を欠席した理由、レポート・作品を提出できなかった理由を確認できる証明書（上記の①～⑦参照）が必要です。期間終了後は、一切受け付けません。
- ・追試験・追レポートの願ひ出が承認された場合は、所定の手続きと定められた手数料（1,000円）を納入しなければなりません。公欠扱いとなる理由の場合、手数料は不要です。
- ・追試験の日時と試験場、追レポートの提出期限・提出場所についてはポータルサイトにて告知します。
- ・Web提出でのレポートの場合は時間を問わず提出が可能なことから、追試験・追レポートの実施はいたしません。



6. 再試験

- ・卒業年次の試験で、卒業に必要な科目・資格関連科目が不合格（D）の場合は、再試験を受けることができます。ただし、評価が採点不可（F）の場合は受験資格がありません。
- ・再試験の願ひ出は、前期8月初旬・後期2月初旬の一定期間に行うとともに、所定の手続きと定められた手数料（1,000円）を納入しなければなりません。期間終了後は一切受け付けません。
- ・再試験の日時と試験場はポータルサイトにて告知します。

7. 試験（筆記試験、レポート・作品提出）に関する注意事項

〔筆記試験〕

- ・試験開始前に、「学生証」を机の上に提示してください。紛失したり忘れた場合は教育支援センターで「受験許可証」の発行を受け、受験してください。
- ・試験場では、筆記用具、許可された物品以外を机の上に置いてはいけません。ノートや参考書の使用を許可された場合も各自持参のものを使用し、互いの貸借は禁じます。
- ・遅刻者の扱いは、授業担当教員（試験監督者）の指示に従ってください。
- ・試験中に不正行為が認められた時は、教授会にはかり厳重に処分します。当該科目は採点不可（F）とし、保証人に通知します。また教員免許状取得のための大学からの一括申請は行いません。悪質と判断された場合、さらに懲戒処分を下す場合があります。

〔レポート・作品提出〕

- ・ポータルサイトで提出するレポート・作品の提出方法については、P.85の「Webレポート提出の手順について」や、ポータルサイトのトップ画面に掲載されている「Webレポート提出マニュアル」を参照してください。
- ・教育支援センターにて受け付けるレポート・作品については、「レポート提出票」を貼付し、定められた日時・場所に提出してください。
- ・レポート提出時に「レポート提出票の控」を受け取って成績が出るまで保管してください。
- ・レポートや作品を許可なく直接授業担当教員に郵送することは禁止です。
- ・教育支援センターではレポート・作品は所定の日時以外は受け付けません。提出期限に遅れた場合は「5. 追試験・追レポート」を参照し、手続きをしてください。
- ・レポートの提出方法は15ページの見本を参照してください。

他人の文章や作品（Webページを含む）を全部または一部でも出典を明示せずそのまま無断で借用することは剽窃（盗用）にあたります。Webページの文章を単にコピー・アンド・ペーストしてレポート作成しないよう注意してください。剽窃は、カンニング同様の不正行為とみなし、厳重に処分の上、当該科目は採点不可（F）になる場合があります。作品の剽窃（盗用）に関しても同様です。

レポート提出票の記入見本

1枚目 「レポート提出票」

3箇所ホチキス

レポート提出票 杉並校舎・短大生

2023年度 (前期) 後期・通年・集中

科目名 生物学 教員名 杉並花子先生

造形学科 美術コース 学年 1年
デザインコース()

専攻科 ()コース

学籍番号 233230 出席番号 230

氏名 和田好美

※枠内を黒のボールペンですべて記入してください。
記入に不備がある場合、成績をつけられないことがあります。

<教育支援センター控> ★切り取らずに教育支援センターに提出してください。

2023年度 (前期) 後期・通年・集中

科目名 生物学 教員名 杉並花子先生

造形学科 () 学年 1年
専攻科 ()
学籍番号 233230 氏名 和田好美

受付印

教育支援センター

<学生控> ★切り取らずに教育支援センターに提出してください。

2023年度 (前期) 後期・通年・集中

科目名 生物学 教員名 杉並花子先生

造形学科 () 学年 1年
専攻科 ()
学籍番号 233230 氏名 和田好美

受付印

教育支援センター

※本票は成績発表まで必ず各自保管してください。紛失した場合再発行出来ません。

「レポート提出票」
「レポートの表紙」
「レポートの本文」
全てまとめて
3箇所ホチキス

短大1年生はピンク(卒業のハンコ無し)の用紙を使用してください。

短大2年生・専攻科生は卒業のハンコが押してあるピンクの用紙を使用してください。

単位互換生・科目等履修生・高校生は、履修科目が大学・短大のどちらかを確認し、大学の場合は紫(卒業のハンコあり)、短大の場合はピンク(卒業のハンコあり)の用紙を使用してください。

2枚目
「レポートの表紙」又は「レポート本文」

「生物学」

※レポートの表紙又は、レポート本文の下余白に(レポート提出票の学生控を切り取った時に見える場所に)科目名・教員名・本人の学科・専攻・学年・出席番号・氏名を記入すること!



「生物学」 (月曜日1時限)
杉並花子
造形学科デザインコース
1年 90番 和田好美

学習の評価と GPA 制度

履修登録した科目の成績を5段階で評価し、それぞれに対して4～0のグレード・ポイント（以下、GPと表記）が付きます。GPA(Grade Point Average)とは、これらのポイントの1単位あたりの平均値になります。

評価	評価基準	合否	GP
S	100～90点	合格	4
A	89～80点		3
B	79～70点		2
C	69～60点		1
D	59点以下	不合格	0
F	採点対象外（出席不良等）	採点不可	0

評価の基準・方法は試験の点数だけでなく、課題・レポート内容や受講態度等を含めた評価によります。評価基準は各授業科目ごとに異なるので、ポータルサイトの「シラバス」に掲載されている「評価方法」欄を十分確認してください。

※不合格(D)、採点不可(F)は、「成績通知」には表示されますが、「成績証明書」には表示されません。

GPAの種類は以下の通りになります。

学期 GPA

- ・当該学期に成績評価された単位を対象として計算した GPA
- ・通年科目は後期に算出されます

通算 GPA

- ・入学時から当該学期までに成績評価された単位を対象として計算した GPA

GPA 計算方法（D・F 評価も含めて計算します。）

学期 GPA	=	$\frac{\text{学期毎で履修登録した科目の(単位数} \times \text{GP)の合計}}{\text{当該学期履修登録単位数}}$
通算 GPA	=	$\frac{[\text{学期毎で履修登録した科目の(単位数} \times \text{GP)の合計}] \text{の総計}}{\text{総履修登録単位数}}$ ※入学時から当該学期まで計算

前期（前期開設科目のみで計算）					後期（後期・通年開設科目のみで計算）					
科目名	単位数	評価	GP	単位数×GP	科目名	単位数	評価	GP	単位数×GP	
●●ゼミ	2	S	4	2単位×4= 8	●●語I	2	B	2	2単位×2= 4	
○○論	2	A	3	2単位×3= 6	○○学	4	C	1	4単位×1= 4	
□□概論	2	D	0	2単位×0= 0	□□論	2	D	0	2単位×0= 0	
△△演習	1	F	0	1単位×0= 0	△△実技	1	F	0	1単位×0= 0	
①前期履修登録単位数→	7			②単位数×GPの合計→	14	③後期履修登録単位数→	9		④単位数×GPの合計→	8
前期 GPA	$\frac{\text{②(前期履修登録単位数)} \times \text{GPの合計} = 14}{\text{①前期履修登録単位数} = 7} = 2.00$				後期 GPA	$\frac{\text{④(後期履修登録単位数)} \times \text{GPの合計} = 8}{\text{③後期履修登録単位数} = 9} = 0.89$				
通算 GPA（入学時から当該学期まで計算）										
通算 GPA =	$\frac{\text{入学時から当該学期までに履修登録した科目の(単位数} \times \text{GP)の合計} \text{ ② } 14 + \text{④ } 8}{\text{総履修登録単位数} \text{ ① } 7 + \text{③ } 9} = 1.38$									

成績通知書 例

前期	後期	通算
2.00	0.89	1.38

GPA対象外科目

- ・ 認定科目（外国語検定資格、既修得単位認定、単位互換制度協定校提供科目等）
- ・ 卒業要件に含まれない科目（教職に関する科目）

一部の科目を除き、単位修得した科目を再履修する事はできません。

不合格・採点不可科目を再履修し単位修得した場合、当該科目の不合格、採点不可の際の単位については、総履修登録単位数から減算します。

単位の授与

授業回数の3分の2以上出席し、試験等の評価がC以上だった科目は合格とし、所定の単位を与えます。一部の科目を除き、単位修得した科目を再度履修することはできません（P.20〔複数履修できる科目〕参照）。

不合格（D）・採点不可（F）だった場合は、次期以降に再履修することができます。

成績通知

1. 成績通知

今年度履修科目の成績通知（成績・修得単位）は以下の時期に通知します。

	成績通知(前期科目)	成績通知(通年・後期科目)
1年次	9月後期授業開始日に配付	春期休業中(3月中旬)にポータルサイトにて通知
2年次・専攻科	9月後期授業開始日に配付	2月中旬の指定日(1月に掲示)に配付
保証人	保証人に年1回(5月頃を予定)、成績通知を送付します。	

※専門科目については、後期に通知しています。

2. 成績照会

成績はポータルサイトで確認できます。(P.70【メニューの機能】参照)

3. 採点調査願

「成績通知」に疑問がある場合は、成績評価が「D」または「F」の科目に限り、所定の期間に「採点調査願」を教育支援センターで受け付けます。(期間を過ぎたものは受け付けません)

申請方法はポータルサイトにて告知します。

履修登録

1. 履修計画

どの科目を履修するかについては、卒業までのプロセスを自分なりに考え、授業科目を体系づけて計画することが必要です。また、教員免許状などの資格を取得する場合は、あわせて履修計画を立てなければなりません。

卒業に必要な単位数は62単位です。それを2年間で修得するために各自しっかり履修計画を立ててください。

各自の履修計画を立てるには、「履修の手引」、シラバス、「時間割表」及びカリキュラムマップ・カリキュラムツリー（2023年度入学生P.41～42、2022年度入学生P.54～55）、本学ウェブサイト掲載）を参考にするとよいでしょう。

履修や学修について相談したいことがあるときは、教育支援センターまでご相談ください。

2. 履修科目の登録方法

授業科目を履修するためには、その年度に履修する授業科目の全てについて、履修登録をしなければなりません。履修登録が完了しないと、授業を受講できないとともに単位が修得できません。

履修登録はポータルサイトでの手続きとなります。必ずWeb履修登録締切までに完了してください。

※Web履修登録の詳細については、P.69以降で使用方法を確認してください。ポータルサイトのログインページは「<https://aa.joshibi.net/>」です。

I 履修関係書類の交付

- ① 1・2年次とも4月のコース・分野別オリエンテーションで「履修の手引」「時間割表」を配付します。
- ② 「時間割表」の訂正、教室の変更等はポータルサイトにて告知します。ポータルサイトからの配信には十分注意してください。

II 履修計画の立案、決定

- ① 「履修の手引」「時間割表」およびポータルサイト「シラバス」、2年次生は「前年度の成績通知書」の単位修得状況を確認しながら、今年度の履修計画を立ててください。授業科目の授業内容については、ポータルサイトの「シラバス」を参照し、また各科目区分の「履修上の注意」もよく読み、間違いのないようにしてください。
- ② 専門科目時間帯（実技時間帯 P.7参照）は各コース・分野の専門科目を履修するものとして履修登録し、その他の時限に「時間割表」を参照して、卒業必要科目から順に各自が希望する講義系科目を決定（履修登録）していきます。
- ③ 年次指定のある科目については必ず指定年次に履修してください。
- ④ 1年間に履修登録できる単位の上限は1年次42単位（資格科目は除く）、2年次49単位です（資格科目は除く）。
下記科目については別途履修登録を行うので、この時点で登録はしないでください。（履修登録上限単位に含みません）
2023年度入学生 アートを社会と生活に生かす「プロジェクト・スタディーズ」「インターンシップ1～4」「国際芸術プログラム」
2022年度入学生 共通科目E群「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」
- ⑤ 時間割上でコース・分野のクラス指定がされている授業科目は、自コース・分野のクラスを履修してください。再履修で認められた場合を除き、原則として他コー

ス・分野のクラスは履修できません。

- ⑥ 原則として専門科目時間帯（実技時間帯）に講義系科目を履修することはできません。ただし下級年次で修得すべきであった卒業必要科目や資格必修科目が、未修得だった場合、専門科目時間帯（実技時間帯）の重複履修を一部認めることがありますので、所属する研究室及び教育支援センターに事前に申し出てください。

〔複数履修できる科目〕

同一科目名の授業科目が複数開講されていますが、1コマしか履修できません。また、年度が変わり、担当教員・内容が変更されても、過去に単位修得した科目である場合、再度履修することはできません。ただし、以下の科目区分、授業科目は複数履修することが可能です。

・外国語科目

同一科目名でも複数履修することが可能です。ただし、内容・教科書が同一の授業科目を2コマ以上履修することはできません。また、年度が変わっても、過去に単位修得した科目と内容・教科書が同一の授業科目である場合、再度履修することはできません。

- ・「スポーツ演習A～D」合計4単位までを修得の上限とし、種目が異なればそれぞれ最大2単位修得することができます。
- ・2023年度入学生「国際芸術プログラム」「プロジェクト・スタディーズ」「インターンシップ1～4」2022年度入学生「キャリア形成」「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」同一科目名でも複数履修することが可能です。また過去に単位修得した科目でも、年度が変わって再度履修することが可能です。

Ⅲ 抽選科目の登録（Web）※抽選科目の履修を希望される方のみ。

履修人数に上限がある授業科目はWeb抽選を行います。下記の抽選科目Web登録締切までにポータルサイトの「抽選授業希望登録」にて抽選授業の希望順位を登録してください（P.79参照）。抽選科目は「時間割表」で確認してください。希望順位の登録は指定された順位まで、または指定された順位以内の登録が必要です。ポータルサイトの「シラバス」にて、履修したいグループの授業科目のシラバスをよく読み、あらかじめ登録する抽選授業を決めた上で登録してください。

抽選科目 Web 登録締切 4月7日（金）10:00

※当選授業と同じ曜日・時限に履修登録した授業はエラーとなります。抽選科目を登録する場合は、抽選結果発表があるまで、ポータルサイトの「履修登録」にて曜日・時限の授業科目を登録しないでください。

抽選結果発表 4月8日（土）10:30～

※抽選結果は、ポータルサイトの「授業抽選結果」にて発表されます。1グループ内で当選する授業は原則1つです。当選授業の一部は履修登録済となっており、ポータルサイト上での取り消し、履修訂正はできません。

※残席のある抽選科目は、ポータルサイトの「履修登録」から、登録することになり、履修登録を完了した方から、先着順で授業の定員まで登録されます。また、残席は他の学生の履修取消により変動します。

※抽選結果発表前にポータルサイトの「履修登録」にて登録した授業が、当選授業と曜日・時限が重複した場合、その授業はエラーとなりますので取り消してください。

IV WEB履修登録

- ① ポータルサイトの「履修登録」にて今年度に履修する全授業科目を登録してください。(P.71以降参照)
- ② 必修科目等の登録漏れがないかを各自で十分に確認の上、登録してください。特に、2年次生・専攻科生はその際に科目区分ごとの卒業所要単位も必ず確認してください。

Web履修登録締切 4月8日(土) 17:00

※ Web履修登録締切を過ぎると、作業途中であっても、履修登録ができなくなりますのでご注意ください。

- ③ 1年次生のみ
Joshibi Foundation Englishの授業クラスについては授業開始までにポータルサイトで発表しますので確認してください。

V 履修登録完了後

〔履修訂正〕

- ① Web履修登録締切後、4月17日(月)に履修登録確認表を受け取り、必修科目や卒業必要科目等の確認とともに、今年度履修する全授業科目を各自で再確認してください。訂正の必要がある場合は、履修訂正期間に所定の手続きを行ってください。
- ② 履修訂正の確認が終了した時点で今年度の履修科目が確定します。その後の履修科目の変更は、原則として受け付けません。

〔履修科目の中止〕

授業科目の履修にあたっては、十分検討のうえ決定するとともに途中で放棄するようなことがないように努めてください。授業科目の履修を中止する場合は「履修変更申請書」を教育支援センターに提出してください。「履修変更申請書」の提出がなく一方的に授業科目の履修を放棄した場合には、成績通知書に「F」(採点不可)と表示されます。

D・F評価も含めて、GPAを計算するため、履修中止科目がある場合は、必ず所定の期間内に履修中止手続きをしてください。

提出締切日：前期 5月31日(水) 後期 10月31日(火)

〔後期履修変更〕

下記の条件内で後期に履修科目の追加・変更を受け付けます。希望する学生は9月11日(月)～16日(土)にポータルサイトで所定の手続きを行ってください。(ただし、抽選科目、履修者数により変更できない科目があります)

年間上限単位(1年次42単位、2年次49単位)から前期修得単位を除いた単位数内

ただし下記科目は除きます。

資格科目、専攻科開設科目

2023年度入学生 アートを社会と生活に生かす「プロジェクト・スタディーズ」
「インターンシップ1～4」「国際芸術プログラム」「卒業制作」

2022年度入学生 共通科目E郡「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」

単位の認定

1. 入学時、既修得単位の認定・大学以外の教育施設等における学修の認定

本学入学以前に在学した大学、短期大学、高等専門学校専攻科および文部科学大臣が別に定める学修において修得した授業科目および単位の認定を希望する者は、前在大学等が発行した「成績ならびに単位修得証明書」または、外国語検定資格の技能審査等における学修成果の証明書を添付して「既修得単位認定願」を教育支援センターに提出してください。この手続きは入学前の定められた期間に限ります。

既修得単位の認定は、本学における共通科目とし、30単位を超えないものとします。

入学時に単位認定する学習の成果	必要書類
本学入学以前に他大学又は短期大学で修得した授業科目	「既修得単位認定願」と前在大学等が発行した「成績ならびに単位修得証明書」及び授業概要(シラバス) ※前在大学が本学の場合は上記書類は必要ありません。
外国語検定資格の技能審査等における学修成果(認定基準は下表参照)	「検定試験等による単位認定申請書」と「合格証書」または「スコアレコード」の原本

2. 「外国語検定資格の技能審査」による単位認定

本学への入学前または入学後在学中に、以下の外国語検定資格技能審査を受験した場合、その結果により、本学の共通科目の単位として認定します。「検定試験等による単位認定申請書」と「合格証書」または「スコアレコード」の原本を教育支援センターに提出してください。この手続きは4月・9月の定められた期間に限ります。

<外国語検定資格技能審査の認定表> (2023年度入学生)

○英語

認定科目名	認定単位数	実用英語技能検定	TOEIC ※	TOEFL (ITP)	TOEFL (iBT)
Joshihi Foundation English A・B	計2単位	2級	470～	460～	42～

※学内実施の模擬試験 TOEIC (IP) は TOEIC のスコアとして扱い、認定します。

●注意事項 <「外国語検定資格の技能審査」による単位認定>

- ・同一語学において、複数の試験で基準を満たしていても、認められる単位数は表のとおりとします。例えば、英検2級とTOEIC470点を満たしていてもJoshihi Foundation English A・Bを2つ(4単位分)認定することはしません。
- ・取得時期は、入学前・入学後のどちらも認めます。ただし、検定試験日より2年以内のものに限ります。
- ・学内で行われるTOEIC (IP)、TOEFL (ITP) の模擬試験(国際センター主催)のスコアも認めます。
- ・認定する単位は共通科目(令和5年度以降入学生)の単位とし、上限は2単位とします。
- ・単位認定された科目と同一の科目を履修することはできません。
- ・単位認定時に同一の科目を履修中である場合は、所定の期間内に必ず履修中止の手続きを行ってください。手続きを行わない場合、成績評価やGPAなどに影響が出る場合があります。
- ・母国語以外の検定資格のみを認定します。

<外国語検定資格技能審査の認定表> (2022年度入学生)

○英語

認定科目名	認定単位数	実用英語 技能検定	TOEIC ※	TOEFL (PBT) ※	TOEFL (CBT)	TOEFL (iBT)
英語 I	2 単位	2 級	470 ~	460 ~	140 ~	48 ~
英語 I + 英語 II	各 2 単位	準 1 級以上	730 ~	550 ~	213 ~	79 ~

※学内実施の TOEIC (IP) は TOEIC、TOEFL (ITP) は TOEFL (PBT) のスコアとして扱い、認定します。

○フランス語

認定科目名	認定単位数	実用フランス語 技能検定
フランス語 (初級)	2 単位	3 級
フランス語 (初級) + (初級)	各 2 単位	2 級以上

●注意事項 <「外国語検定資格の技能審査」による単位認定>

- ・同一語学において複数の試験で基準を満たしていても、認められる単位数は表のとおりとします。
例えば、英検 2 級と TOEIC 470 点を満たしていても、英語 I を 2 つ (4 単位分) 認定することはしません。また、英検準 1 級と TOEIC 470 点を満たしている場合は、より上位の基準である英検準 1 級のみを適用し、「英語 I + 英語 II」(4 単位) のみ認定します。
- ・取得時期は、入学前・入学後のどちらも認めます。ただし、検定試験日より 2 年以内のものに限ります。
- ・学内で行われる TOEIC (IP)、TOEFL (ITP) の模擬試験 (国際センター主催) のスコアも認めます。
- ・認定する単位数は共通科目 B 群とし、上限は 4 単位とします。

願い出た授業科目および単位については、教授会にはかり教育上有益と認めたものについては、本学における共通科目で修得したものととして認定します。

入学前の既修得単位および本学で修得したものとみなす単位の上限は、30 単位以内とします。

3. インターンシップ

インターンシップとは学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行う制度のことを言います。インターンシップ先が決まりましたら **キャリア支援センター** に報告してください。

[単位認定するインターンシップ]

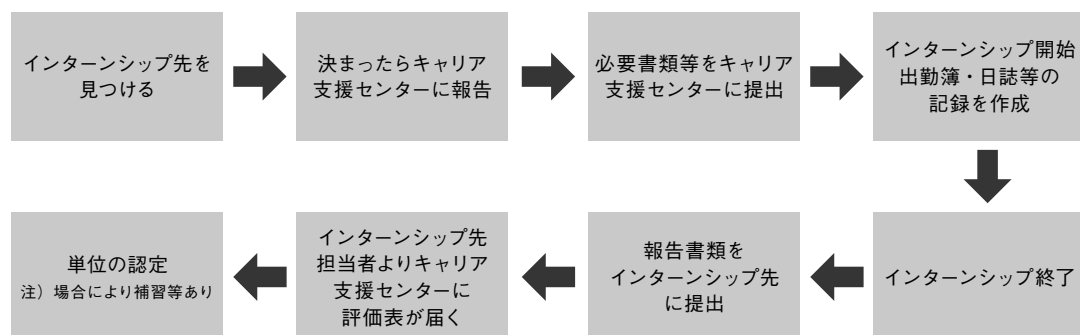
本学では主に 夏期・春期休業期間 を利用し、自分の専門分野に関連する企業の現場 (或いはこれに類する場所) において、一定期間の実習 (事前・事後指導を含む) を行うことで単位の修得が可能です (2 年次春期休業中の実習は除く)。なお、修得する科目名称・単位数は実習期間に応じて異なります。

<単位認定の目安>

期 間	名 称		単 位
	2023年度入学生 (23●●●●●)	2022年度入学生 (22●●●●●)	
1週間の実習の場合	インターンシップ1	インターンシップA	1
2週間の実習の場合	インターンシップ2	インターンシップB	2
3週間の実習の場合	インターンシップ3	インターンシップC	3
4週間の実習の場合	インターンシップ4	インターンシップD	4

※認定単位は、インターンシップ期間の実働時間によって、付与する単位数が変わります。

<単位認定するインターンシップの流れ>



4. 留学中の本学開設科目学修について

遠隔授業による履修が可能となる場合でも、学籍「留学」中は認定できません。

5. 単位互換制度(対女子美術大学芸術学部単位互換)

平成13年4月から女子美術大学芸術学部と女子美術大学短期大学部(専攻科を除く)の単位互換制度を行っています。これにより、女子美術大学芸術学部の杉並校舎開設科目を履修することが可能です。

この単位互換制度は、教育課程の充実を図るとともに、学生皆さんの教育機会の拡大、特に幅広い視野の育成と学習意欲の向上を図ることを目的として実施されるものです。

○応募資格

短期大学部全学生(専攻科を除く)が対象。

○履修可能単位数

単年度では最大8単位まで履修可能です。

○単位認定

修得した単位は共通科目の卒業所要単位として認定します。

○履修できる科目

単位互換の趣旨に鑑み、短期大学部の共通科目の内、短期大学部のカリキュラムに開設されていない科目が単位互換の対象となります。資格科目など一部の科目は除きます。

履修の際は必修科目、実技科目等、短期大学部の勉学に支障のない範囲で、履修計画を立ててください。特に通年科目を履修する場合は、1年次後期より選択することになる各コース・分野の必修科目を視野に入れ、重複しないように注意してください。

○履修料

無料です。

○申込方法

短期大学部の開設科目と同様に、Web履修登録が必要となります。

※ Web履修登録の画面上、単位互換科目には識別のため科目名称の頭に「※」の印をつけています

なお、抽選科目については芸術学部優先となります。芸術学部の履修人数によっては履修を許可できない場合があります。

外国語コミュニケーション科目は芸術学部の抽選終了後、残席がある場合のみ履修を認めます。

対女子美術大学芸術学部単位互換 開設科目一覧(2022年度入学生) P.25 参照

対女子美術大学芸術学部単位互換 開設科目一覧(2023年度入学生) P.35 参照

対女子美術大学芸術学部単位互換 開設科目一覧 (2022年度入学生)

	科目名	単 位	形 態	備 考		
学 部 共 通 科 目	A群	※文化人類学	2	講義		
		※法学	2			
		※政治学	2			
		※現代社会概説	2			
	B群	※イタリア語Ⅰ	2	演習		
		※イタリア語Ⅱ	2			
		※イタリア語Ⅲ	2			
		※ドイツ語Ⅰ	2			
		※ドイツ語Ⅱ	2			
		※中国語Ⅰ	2			
		※中国語Ⅱ	2			
		※フランス語Ⅱ	2			
		※フランス語Ⅲ	2			
		※日本語Ⅰ*1	2			
		※日本語Ⅱ*2	2			
		※比較文化論	2		講義	
		※言語学	2			
		C群	※精神保健		2	講義
	※心身医学		2			
	D群	※西洋美術史特論A	2	講義		
		※西洋美術史特論B	2			
		※日本美術史特論A	2			
		※日本美術史特論B	2			
		※東洋美術史特論	2			
		※現代美学	2			
		※芸術学	2			
		※日本近代美術論	2			
		※環境論	2			
		※造形心理学	2			
※文化遺産学		2				
※ユニバーサルアート研究	2					
E群	※歴史の中の女性	2	講義			
	※女性と法	2				
	※芸術文化政策論	2				
	※国際芸術演習A	1	演習			
	※国際芸術演習B	1				

* 1…B群「日本語Ⅰ」は外国人留学生のみ履修可能。

* 2…B群「日本語Ⅱ」は外国人留学生のみ履修可能。

帰国子女の学生で履修を希望する場合は、事前に教育支援センターに相談してください。

科目等履修生

1. 科目等履修生

卒業後、本学の授業科目の履修を希望する者は、本学学生の修学に支障のない限りにおいて選考の上、科目等履修生となることができます。教職課程履修者等で所定の単位を在学中に修得できなかった場合、不足単位の履修も可能です。履修可能科目については教育支援センターに確認してください。申込期間は前期・通年科目は3月上旬、後期科目は6月下旬になります。

2. 研究生

短期大学部専攻科を修了し、さらに研究を続けたい者は研究生になることができます。願い出は1月中旬又は研究開始2カ月前までとなります。

女子美術大学芸術学部 3 年次編入学について

芸術学部 3 年次編入学については、2 年次生を対象に説明会を行います。
日程は Active Academy でお知らせします。

1. 2023 年度芸術学部 3 年次編入学入学定員

学科・専攻名	入学定員	学科・専攻名	入学定員	学科・領域名	入学定員
美術学科 洋画 日本画 立体アート 美術教育 芸術文化	14 名	デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン プロダクトデザイン 環境デザイン 工芸	16 名	アート・デザイン表現学科 メディア表現 ヒーリング表現 ファッションテキスタイル表現 アートプロデュース表現	10 名

2. 編入学試験は、以下の 2 種類です。

●女子美術大学芸術学部 3 年次編入学学校推薦型選抜（女子美術大学短期大学部）
短期大学部の学内選考を経て推薦されます（専願）。

●女子美術大学芸術学部 3 年次編入学一般選抜

編入学試験の出願にあたっては出身の専攻分野は問いませんので、短期大学部の所属にかかわらず出願することができます。ただし、デザイン・工芸学科へ出願を希望する場合、編入学の専攻・コースと異なる分野出身者は編入後に芸術学部 2 年次開設の各専攻必修科目を履修する必要があるため、在学年が 3 年以上となる場合がありますので注意してください。また、デザイン・工芸学科に限らず、所属の分野と異なる専攻・領域の希望者は、出願前に説明会等で当該研究室の教授と面談し、編入学の後の修学について確認してください。

※デザイン・工芸学科 環境デザイン専攻への編入を希望する方は、共通科目 D 群開設「CAD 演習」を履修するようにしてください。

3. 単位認定

芸術学部を卒業するために必要な最低修得単位は、以下の 124 単位です。

	学部共通科目	学科専門科目	合計
美術学科 デザイン・工芸学科 アート・デザイン表現学科	30 単位	94 単位	124 単位

女子美術大学短期大学部での修得単位は、以下の方法で認定されます。なお、認定の方法は、一部の科目を除いて包括認定です。

* 包括認定：本学芸術学部開設科目と短期大学部での履修科目の内容を特定することなく、既修得科目の単位数を本学芸術学部の単位として認定する方法です。認定された単位は、包括認定単位としてまとめて表示されます。

■単位認定方法

短期大学部の在学時の全修得単位から、大学の 1・2 年次開設 **学科専門科目** (①専攻・領域専門科目 ②学科共通科目必修科目 ③学科共通科目選択必修科目)、**学部共通科目** (上限 28 単位) の順で認定します。

学科専門科目

原則、1・2 年次必修・選択必修科目の大部分を包括認定しますが、デザイン・工芸学科については、入学コースと異なる分野出身者は在学年が編入学後 3 年以上となる場合があります。また、編入学後に履修すべき科目として各専攻・領域が指定する一部の講義科目・演習科目については認定されません。編入学後に履修すべき指定科目は、説明会での配付資料で確認してください。これらの指定科目の履修方法については、編入学後に指導します。なお、次のとおり特定科目の修得者のみを認定する科目があります。

専攻・領域名	学部開設科目	短期大学部認定対象科目
ヴィジュアルデザイン	学科共通科目必修科目 「印刷概論」(2単位)	「記号論」(2単位)
プロダクトデザイン	学科共通科目必修科目 「デザイン図法」(2単位)	「図学」(2単位)
環境デザイン	学科共通科目必修科目 「環境デザイン概論」(2単位)	「空間デザイン概論」(2単位)

学部共通科目

学部共通科目E群必修科目「基礎学習ゼミ」2単位、C群2単位、B群「外国語コミュニケーション」2単位、A～E群の専攻・領域の1・2年次必修・選択必修指定科目は、包括認定単位数の中に含まれることとしますので、編入学後にあらためて履修する必要はありません。

資格関連科目

編入学生は2年間で卒業することが最優先となります。編入学後の履修計画や実習計画において無理が生じた場合は、卒業までの2年間では免許状又は資格を取得できないことがありますので、編入学後個別に相談してください。

教職に関する科目

大学で中学校1種および高等学校1種免許状を取得するためには、短期大学部において中学校2種免許状を取得していることを原則とします。短期大学部で修得した教職に関する科目は、免許法施行規則に定める科目区分に基づき、大学の教職に関する科目として認定します。

博物館に関する科目

学芸員養成課程については、編入学前の学修歴（既修得科目）と編入学後の本学での修得科目を合わせて学芸員資格の取得が可能です。

対象：2023年度入学生（23 ●●●●）

詳細は、後日お知らせします。

短期大学部専攻科について

1. 専攻科は短期大学部卒業者に対し、高度の技術と理論を探究させることを目的としており、修業年限は1年です。
2. 募集人員は各コースとも若干名です。
3. 募集についての説明会は、短期大学部2年次生を対象に行います。日程はActive Academyでお知らせします。
4. 専攻科は、1996（平成8）年4月1日から、「大学改革支援・学位授与機構」の認定専攻科となっています。

大学改革支援・学位授与機構による学位の取得について

1. 「大学改革支援・学位授与機構」について

- ① 「大学改革支援・学位授与機構」は国立学校設置法に基づき平成3年に設置された文部科学省管轄の機関です。このことにより、短期大学卒業者が科目等履修生として大学の単位を修得する等の方法により一定の学修を積み上げた場合、「大学改革支援・学位授与機構」の行う審査によって「学士」の学位を取得できることになりました。
- ② 「学士」の学位取得のためには「『積み上げ単位』の修得」と「『学修成果』の作成」「試験」が必要となります。「大学改革支援・学位授与機構」はこれらについて審査を行い、いずれもが可と判断された場合に合格とし「学士」の学位を授与します。可否については申請後6ヶ月以内に通知されます。
- ③ 「『積み上げ単位』の修得」とは短期大学卒業後、2年以上にわたって「大学」または「学位授与機構認定専攻科」等の開設科目を科目等履修生として62単位以上修得することを指します。
- ④ 「『学修成果』の作成」とはレポートまたは作品制作を指します。作品制作の場合は申請時に作品等の写真を提出することになります。
- ⑤ 「試験」とは「学修成果」をレポートで申請した場合は小論文試験、作品を提出した場合は作品持参の面接試験となります。

2. 専攻科在学中の単位修得について

- ① 本学の専攻科は平成8年に「大学改革支援・学位授与機構認定専攻科」となりました。このことにより専攻科で修得する単位全てが「学士」の学位取得のための単位（「積み上げ単位」）として申請できるようになりました。
- ② また、専攻科在学中に科目等履修生として女子美術大学の開設科目を無料で履修することができます。この単位も「学士」の学位取得のための単位（「積み上げ単位」）として申請することが可能です。
- ③ 「大学改革支援・学位授与機構」に関しては4月に専攻科進学予定者を対象に説明会を実施します。

3. 学修期間について

大学改革支援・学位授与機構における単位積み上げ型の学位授与の審査基準「学修期間：4年間、修得単位：124単位」は、大学設置基準に基づき設定しています。女子美術大学短期大学部造形学科卒業者が学位申請する際の学修期間・修得すべき単位についての条件、「造形学科卒業後、2年以上にわたって授業科目を履修した期間があり、62単位以上を修得すること」については、厳格に取り扱われます。ここで言う「2年以上」とは、最低1科目以上授業科目を履修している期間が通算して2年以上あることを指します。「授業科目を履修した期間」は、専攻科又は4年制大学に在籍する学生・科目等履修生としての期間です。

申請に際して学位授与機構は、在学証明書・科目等履修単位取得証明書等にて学修期間の合計が2年間以上あるか確認します。女子美術大学短期大学部専攻科に在籍する1年間だけで専攻科と大学科目等履修にて62単位修得しても学修期間2年間とは認められません。科目等履修期間が半期のみの場合、学修期間も半期分しかカウントできません。また、女子美術大学短期大学部専攻科と4年制大学科目等履修を平行して行った1年間を各1年、計2年としてカウントすることもできません。

4. 学位申請について

学位申請手順・修得科目要件等、学位申請に関して不明な点は、学位授与機構に電話にて問い合わせできます。学位申請は、個人と学位授与機構間で行うため、ご本人が申請前に申請要件等直接学位授与機構に確認してください。(電話番号については、ホームページを確認してください。)

大学改革支援・学位授与機構 学位に関する申請書類等

http://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html

短期大学部

造形学科

■教育の目標

芸術的感性と広い視野をもち、柔軟な思考力、確かな技術を身につけ、自分の未来像を設計できる個性豊かな人材や実社会での応用力を持った人材の育成を教育目標とします。

■学科の特長

幅広い専門科目と実技科目を置き、現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的にとらえたカリキュラムとなっています。本人の体験を通して専門分野を絞り込むことができるように選択制を取り入れ、1 年次前期は専門領域を限定しないことにより学生はさまざまな表現領域を体験することができます。この事により、後期以降各自が選択する専門領域において、前期に選択した実技経験を活かし個々の専門領域を見極め、より高度な知識・技術を集中的に習得することができます。

そして、卒業後は専攻科への進学や、芸術学部 3 年次への編入学の道も開かれています。また、芸術学部・短期大学部の間には単位互換協定があり、一部の授業は相互に履修することが可能になっています。

■カリキュラムの概要

1 年次前期の実技科目は、13 種類の科目から 4 科目を選択。中でも、デッサン力とパソコンスキルの基本を習得する科目として、共通 A（観察描写）、共通 B（デジタルデザイン）を推奨しています。個々が志す領域に直結した授業を選ぶことはもとより、あえて異なる領域の授業を履修することで自己表現の方法に幅を持たせることが可能となり、自分の個性を見つけ出す第一歩となります。

後期からは、前期で体験した授業を基に、美術コース・デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト）の中から専門領域・分野を選択し、より専門性の高い知識や技術を集中的に習得し、感性を磨いていきます。2 年次後期からの卒業制作では、それまで培った知識や技術や表現力をもとに、自己の表現の可能性を探る大切な時間となります。それは 2 年間の集大成であるとともに、社会に出て活躍するための出発点でもあります。

卒業条件

本学を卒業するために必要な最低修得単位は次の通りです。
卒業を認定された者は、短期大学士（芸術）の学位が授与されます。

Ⅰ 共通科目	ファンデーション	4単位	24 単位
	グローバルな多様性社会に必要な知識を身につける	6単位以上	
	美大生としての基礎力・創造力を養う	6単位以上	
	アートを社会と生活に生かす	2単位以上	
	語学力を高め世界で活躍する	2単位以上 英語系から2単位以上必修	
Ⅱ 専門科目	必修科目・選択必修科目		38 単位
卒業所要単位 合計			62 単位

本学では、十分な学習時間を確保するため、1年間で登録できる単位の上限を1年次42単位、2年次49単位としています。

なお、以下の科目は登録上限単位に含みません。

共通科目 アートを社会と生活に生かす「プロジェクト・スタディーズ」「インターンシップ1～4」「国際芸術プログラム」

専門科目 「卒業制作」

資格科目

履修登録の際は、総単位数の合計を越えないよう履修科目の調整をしてください。

＜共通科目一覧＞ P.36 参照

共通科目 ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

短期大学部共通科目においては、以下を学位授与の条件とします。

【知識・理解】(教養・多様性の理解)

多様性を尊重する社会への理解および課題意識を醸成するために必要な学問的・実験的な知識・理論を修得し、幅広い教養を身に付けている。

【関心・意欲・態度】(実践力、マネジメント力)

芸術の理論と技法を活用し、地域や社会の諸問題に主体的に取り組む実践力や他者と協働し解決する力、生涯を通じて学ぶ姿勢とマネジメント力を身に付けている。

【思考・判断】(創造的思考力)

芸術分野における基礎的知識を修得し、それらを学術・創作研究として創造的に発展させる思考力・判断力を身に付けている。

【技能・表現】(表現・コミュニケーション力)

グローバル社会において自身の考えを的確に表現できる語学力や異文化に対する理解力を高め、総合的なコミュニケーションを見に付けている。

ファンデーション科目

「女子美基礎講座」「女子美の教養」を柱として開設しています。「女子美基礎講座」では、本学が輩出してきた過去から現在に至るまでに活躍する卒業生（および在学生）について触れ、学生の未来へと繋げていくことで、本学の理念、女子美スピリッツを浸透、継承できる内容です。「女子美の教養」では、社会人、アーティストとして将来を歩んでいく際に、教養教育の学びが自身の専攻分野、興味・関心とどのように結びついて社会に活かされるのかを学びます。

・グローバルな多様性社会に必要な知識を身につける【多様性の理解】

的確な情報収集や分析、理論的思考・判断能力を養い、人文、社会、自然科学に関する知識・理解を深めるカリキュラムとなっています。次の3つの科目群から成り立っています。

- ジェンダー研究 ●国際社会と日本・文化 ●自然環境と人間

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

多様性が尊重される社会において、ジェンダー、国際社会と日本、自然環境と人間、芸術について広く学び自己理解をすることで、社会人にふさわしい考え方や幅広い教養を養う科目を配置する。

・美大生としての基礎力・創造力を養う【創造的思考力】

制作や研究に主体的、計画的に取り組む関心・意欲・態度を養います。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

美学、美術史、色彩や図学など、芸術分野における基礎力、芸術的感性を培い、独創性を高めて具現化することのできる創造的思考力・判断力を養う科目を配置する。

・アートを社会と生活に生かす【実践力・マネジメント力】

生涯を通して学ぶ創作、研究（持続可能なアートスキル）への関心・意欲・態度を養い、地域社会への理解を深めるカリキュラムです。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術的理論と技法を活用し、自分の未来像（キャリア）をデザインし、生涯にわたり広く社会に貢献できる主体的な実践力、マネジメント力、協働する力を養う科目を配置する。

・語学力を高め世界で活躍する【表現・コミュニケーション力】

創作や考えを伝える技能・表現・コミュニケーションスキルを身につけます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

グローバル社会において多様な他者の文化的背景を理解し、自身の創作や考えについての確に伝えるコミュニケーション能力を養う科目を配置する。

共通科目 開設一覧

科目区分	短大共通科目				対女子美術大学芸術学部単位互換科目				単位計	
	授業科目	単位数	年次	形態	授業科目	単位数	年次	形態		
ファンデーション	必女子美基礎講座	2	1	講義					4	
	必女子美の教養	2	1	講義						
グローバルな多様な社会に必要な知識を身につける	ジェンダー研究				※歴史の中の女性	2	1~2	講義	6単位以上	
					※女性と法	2	1~2	講義		
					※ジェンダー論	2	1~2	講義		
	国際社会と日本・文化	△教育原論	2	1	講義	※ジェンダーとアート概論	2	1~2		講義
		△保育原論	2	1	講義	※哲学	2	1~2		講義
		△法学（日本国憲法）	2	1	講義	※歴史	2	1~2		講義
		△児童家庭福祉学	2	1	講義	※文化人類学	2	1~2		講義
						※コミュニケーション論	2	1~2		講義
						※比較文化論	2	1~2		講義
						※異文化理解	2	1~2		講義
						※言語学	2	1~2		講義
						※社会学	2	1~2		講義
						※国際関係論	2	1~2		講義
						※アートと法入門	2	1~2		講義
						※芸術文化政策	2	1~2		講義
自然環境と人間	△教育心理学	2	1	講義	※1日本語A	1	1~2	演習		
	△健康科学A	1	1	演習	※2日本語B	1	1~2	演習		
	△健康科学B	1	1	演習	※数理科	2	1~2	講義		
	△保育の心理学	2	1	講義	※生命科学	2	1~2	講義		
	△子どもの保健・食・栄養	2	1	講義	※心理学	2	1~2	講義		
					※環境学	2	1~2	講義		
美大生としての基礎力・創造力を養う	△西洋美術史A（美）	2	1	講義	※スポーツ演習A	1	1~2	演習	6単位以上	
	△西洋美術史B	2	1	講義	※スポーツ演習B	1	1~2	演習		
	△日本美術史A（美）	2	1	講義	※精神保健	2	1~2	講義		
	デザイン史（デ）	2	1	講義	※身体機能論	2	1~2	講義		
	色彩学（デ）	2	1	講義	※西洋美術史特論A	2	1~2	講義		
	造形材料学	2	1	講義	※西洋美術史特論B	2	1~2	講義		
	写真概論	2	1	講義	※西洋美術史特論C	2	1~2	講義		
	△日本美術史B	2	2	講義	※日本美術史特論A	2	1~2	講義		
	△東洋美術史	2	2	講義	※日本美術史特論B	2	1~2	講義		
	△美学概論	2	2	講義	※日本美術史特論C	2	1~2	講義		
	△広告概論	2	2	講義	※東洋美術史特論A	2	1~2	講義		
	△デザイン法令論	2	2	講義	※東洋美術史特論B	2	1~2	講義		
	写真実習	2	2	実習	※東洋美術史特論C	2	1~2	講義		
	記号論	2	2	講義	※現代美術学	2	1~2	講義		
					※現代美術学C	2	1~2	講義		
					※美術解剖学A	2	1~2	講義		
					※美術解剖学B	2	1~2	講義		
					※図学A	2	1~2	講義		
				※図学B	2	1~2	講義			
				※文化遺産学	2	1~2	講義			
				※色彩学A	2	1~2	講義			
				※色彩学B	2	1~2	講義			
				※造形心理学	2	1~2	講義			
アートを社会と生活に生かす	実践するアート	国際芸術プログラム	2	1~2	演習	※地域共創学	2	1~2	講義	2単位以上
		プロジェクト・スタディーズ	2	1~2	演習	※アーティスト・イン・レジデンス概論	2	1~2	講義	
						※カラーコーディネート基礎	2	1~2	講義	
	キャリアリテラシー	△情報メディア基礎演習	2	1	演習	※表現と癒しの営み	2	1~2	講義	
		インターンシップ1	1	1~2	実技	※子ども発達論	2	1~2	講義	
		インターンシップ2	2	1~2	実技	※インテリアデザイン史	2	1~2	講義	
語学力を高め世界で活躍する	語学力を高める	△Joshibi Foundation English A	1	1	演習	※Joshibi Global English A	1	1~2	演習	2単位以上（英語系科目から2単位以上必修）
		△Joshibi Foundation English B	1	1	演習	※Joshibi Global English B	1	1~2		
						※English Conversation A	1	1~2		
						※English Conversation B	1	1~2		
						※フランス語I A	1	1~2		
						※フランス語I B	1	1~2		
						※イタリア語I A	1	1~2		
						※イタリア語I B	1	1~2		
						※ドイツ語I A	1	1~2		
						※ドイツ語I B	1	1~2		
						※中国語I A	1	1~2		
						※中国語I B	1	1~2		
						※フランス語II A	1	1~2		
						※フランス語II B	1	1~2		
						※イタリア語II A	1	1~2		
				※イタリア語II B	1	1~2				
				※ドイツ語II A	1	1~2				
				※ドイツ語II B	1	1~2				
				※中国語II A	1	1~2				
				※中国語II B	1	1~2				

- 必 …必修科目。
- (美) …美術コース必修科目。
- (デ) …デザインコース選択必修科目。
- △ …教育職員免許状二種免許状（美術）を取得するための必修・選択必修科目。
- ※ …芸術学部開設単位互換科目
- ※1・2…「日本語A」「日本語B」は外国人留学生のみ履修可能。

<履修上の注意>

●ファンデーション

「女子美基礎講座」「女子美の教養」は1年次必修科目です。

●国際社会と日本・文化

単位互換科目「日本語A」「日本語B」は外国人留学生のための科目です。講義を聴いたり、レポートを書くのに役立つ科目ですので、外国人留学生はなるべく「日本語A」「日本語B」を履修するようにしてください。なお「日本語A」「日本語B」は、原則、同一年度に両方履修してください。

●自然環境と人間

「健康科学A」「健康科学B」単位互換科目「スポーツ演習A」「スポーツ演習B」は履修人数に制限がありますので、Web抽選を行います。ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。抽選に漏れた場合は、空きのある科目にのみ再申請することができます。

●芸術

「西洋美術史A」「日本美術史A」は美術コースの専門必修科目となります。共通科目としては単位算入しませんので、注意してください。

「デザイン史」「色彩学」はデザインコースの選択必修科目となります。両方の科目を単位修得した場合は、1科目は「共通科目」に算入します。

●語学力を高める

英語系科目から2単位以上必修です。同一科目のA・Bは原則、同一年度に両方履修してください。単位互換科目の英語系科目は履修人数に制限があるため、「Joshibi Foundation English A」「Joshibi Foundation English B」の2単位分を1年次に履修することを推奨します。

対女子美術大学単位互換科目

単位互換科目履修にあたっての詳細は、P24、25 単位互換制度（対女子美術大学芸術学部単位互換）を確認してください。

専攻科科目 科目等履修

●履修する年度の4月1日現在で満22歳以上の造形学科生について専攻科選択科目の「臨床美術」（夏期集中講義予定）を科目等履修生として履修することができます。履修が決定した段階で約20,000円程度（テキスト代および資格認定費用等）別途かかります。「臨床美術」は単位修得と同時に「臨床美術士」5級資格を取得することができます。なお、修得単位は造形学科の卒業要件単位には含まれません。造形学科卒業後、専攻科に進学した場合は、既修得単位として専攻科の単位に認定します。希望者は履修登録期間中に教育支援センターにて申込手続きをしてください。

美術コース

ファイン・アート（純粋美術）の領域で、自己表現としてのモノ創りが主体となります。平面と立体の垣根を外し、古典技法から現代的表現まで幅広い学習をします。1 年次後期より油彩、版画、日本画、塑造などを選択しながら、自らの表現スタイルの確立に向け模索していきます。

1. 教育の目標

自然から謙虚に学ぶことを根幹に置き、見ることと表現することの素晴らしさを追求します。それによって豊かな感性と確かな表現力を身につけるとともに、創作を通して豊かな情操を育成します。

2. 本分野の特長

平面と立体のジャンルにとらわれない、幅広い表現を経験することができます。課題は多くの選択制を導入し、さまざまな素材と技術、媒材や手段を学ぶことで、それぞれに適した表現を探求します。その上で、個性とオリジナリティを尊重した、様々な表現方法へと発展させます。

3. カリキュラムの概要

造形の基本となる学習を 1 年次では「美術」、2 年次では「絵画」や「彫塑」を学び、見ることと表現することの本質的な意味を知ります。

「造形表現 I・II」（I は 1 年次、II は 2 年次）では、様々な素材、技術を経験して表現の幅を広げます。また「造形研究 I、II」（I は 1 年次、II は 2 年次）ではそれぞれの領域での深い追及をしていきます。

この様なかたちで、油彩、日本画、版画、彫塑など、さらに専門化した分野で応用や展開を学習して行きます。

1 年後期では絵画、版画、彫塑の基礎を学び、2 年前期からは、一つの領域を続けて深く学ぶことや、領域を横断しながら学ぶことができます。「卒業制作」ではこれまでの集大成として、それぞれの専門分野での表現を発展させ、個性やオリジナリティを持った制作に繋げていきます。

デザインコース

デザインとは、社会や人にとって有益なモノやコト、トキを表現によって創造する活動です。その分野は多岐にわたります。

デザインコースには、「グラフィック」「メディア」「テキスタイル」「プロダクト」の4つの分野があり、そのうちから一つを選び学んでいきます。

「グラフィック」は印刷媒体を中心としたヴィジュアルコミュニケーションを、「メディア」は映像・アニメーションをはじめとした多様な媒体表現を、「テキスタイル」は染・織の技術を学びながら暮らしの提案を、「プロダクト」はインテリア雑貨や照明など暮らしを豊かにするモノづくりを、それぞれの専門分野に特化した知識や技術、表現力を身につけます。

1. 教育の目標

現代社会のさまざまな場面で、思考力や創造性を生かし幅広く活躍できるクリエイターやデザイナーを育成します。

2. 本分野の特長

一人ひとりの個性を大切に、造形表現の基礎教育および感性を鍛えるトレーニングを積み重ね、既成概念にとらわれない自由な物の見方や発想力を習得します。

3. カリキュラムの概要

デザインの基礎となる観察力や発想力を表現とともに学ぶ「デザイン基礎Ⅰ」、コンピュータソフトの基本的な操作方法を習得する「コンピュータ実習」を全分野共通で学びます。

その後、「グラフィック」「メディア」「テキスタイル」「プロダクト」の4分野に別れ、「デザイン基礎Ⅱ」「デザイン表現Ⅰ」「デザイン表現Ⅱ」「デザイン表現Ⅲ」の実技授業を通して、各分野の造詣を深めるとともに豊かな創造力と表現力を培っていきます。

集大成としての「卒業制作」では、将来を見据えながら、これまでの学びを活かした新たな作品制作に挑戦していきます。

専門科目

専門科目（38 単位履修のこと）

*印の科目は時間割表には表示していません。専門科目時間帯（実技時間帯）に行う授業科目であり、各コースのスケジュール表を参照すること。履修方法については、1年次前期の「基礎造形」に関しては、4月のガイダンスの指示に従ってください。1年次後期以降の実技に関しては、後期選択する分野の研究室の指示に従ってください。

1 年次前期

専門科目

必修科目（美術コース・デザインコース共通）

1年次前期			形態	計
科目名	単位			
* 基礎造形（美術A・油彩）	2	13 科目から 4 科目選択	演習	10
* 基礎造形（美術B・日本画）	2			
* 基礎造形（美術C・版画）	2			
* 基礎造形（美術D・テラコッタ）	2			
* 基礎造形（共通A・観察描写）	2			
* 基礎造形（共通B・デジタルデザイン）	2			
* 基礎造形（デザインA・ヴィジュアル表現）	2			
* 基礎造形（デザインB・映像）	2			
* 基礎造形（デザインC・造形発想ワークショップ）	2			
* 基礎造形（デザインD・染）	2			
* 基礎造形（デザインE・織）	2			
* 基礎造形（デザインF・陶と灯りの造形）	2			
* 基礎造形（デザインG・ウッドクラフト）	2			
造形概論	2		講義	

「基礎造形」13 科目の中から4科目を選択し、各2単位、計8単位を履修してください。選択した4種類の科目は、1年次前期の実技時間において、1種類につき3週間、計12週間の授業を行います。

1年次後期～2年次

美術コース

	1年次後期			2年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
必修科目	*美術	2	実技	*造形研究Ⅱ	2	実技	24	28
	*造形研究Ⅰ	3		*造形表現Ⅱ	2			
	*造形表現Ⅰ	1		造形論	2	講義		
	西洋美術史A	2	講義	*卒業制作	6	実技		
	日本美術史A	2		共通プログラム	2	演習		
選択科目 択				*絵画	4	} 4 実技	4	
				*彫塑	4			

デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト）

	1年次後期			2年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
必修科目	*コンピュータ実習	1	実技	*デザイン表現Ⅰ	2	実技	22	28
	*デザイン基礎Ⅰ	1		*デザイン表現Ⅱ	2			
	*デザイン基礎Ⅱ	4		*デザイン表現Ⅲ	2			
				*デザイン表現Ⅳ	2			
				*卒業制作	6			
				共通プログラム	2	演習		
選択必修科目	情報デザイン概論	2	} 2 講義	情報メディア論	2	} 2 講義	6	
	テキスタイルデザイン概論	2		染織デザイン論	2			
	プロダクトデザイン概論	2		プロダクトデザイン発想法	2			
	デザイン史	2						
	色彩学	2	(注1)					

(注1) 「デザイン史」「色彩学」どちらも履修した場合、2単位分は共通科目として取り扱う。

カリキュラムマップ (美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト〕)

到達指標

専門科目

1. 社会人にふさわしい教養、考え方を身につけている。
2. 美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができる。
3. 自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけている。
4. 美術、デザインの活動を通して、広く社会に貢献できる能力を身につけている。

共通科目

1. 【知識・理解】(教養・多様性の理解)
多様性を尊重する社会への理解および課題意識を醸成するために必要な学問的・実験的な知識・理論を修得し、幅広い教養を身に付けている。
2. 【関心・意欲・態度】(実践力、マネジメント力)
芸術の理論と技法を活用し、地域や社会の諸問題に主体的に取り組む実践力や他者と協働し解決する力、生涯を通じて学ぶ姿勢とマネジメント力を身に付けている。
3. 【思考・判断】(創造的思考力)
芸術分野における基礎的知識を修得し、それらを学術・創作研究として創造的に発展させる思考力・判断力を身に付けている。
4. 【技能・表現】(表現・コミュニケーション力)
グローバル社会において自身の考えを的確に表現できる語学力や異文化に対する理解力を高め、総合的なコミュニケーション力を身に付けている。

★専門科目

開講時期	期	科目名	到達指標			
			1	2	3	4
1 年 次 生	前期	基礎造形	○			
		造形概論	○			
	後期	美術		○		
		造形研究 I	○	○		
		造形表現 I	○	○		
		西洋美術史 A	○	○		
		日本美術史 A	○	○		
		コンピュータ実習		○	○	
		デザイン基礎 I		○	○	
		デザイン基礎 II		○	○	
		情報デザイン概論	○	○		
		テキスタイルデザイン概論	○	○		
		プロダクトデザイン概論	○	○		
		デザイン史	○			
色彩学	○					
2 年 次 生	前期	造形論	○	○		
		共通プログラム	○	○		○
		染織デザイン論	○	○		
		情報メディア論		○		
		絵画		○		
		彫塑		○		
		造形研究 II		○		
	後期	造形表現 II		○		
		デザイン表現 I		○	○	
		デザイン表現 II		○	○	
		デザイン表現 III		○	○	
		デザイン表現 IV		○	○	
		プロダクトデザイン発想法		○	○	
		卒業制作		○	○	

★共通科目

開講時期	科目名	到達指標			
		1	2	3	4
1 年 次 生	女子美基礎講座	○			
	女子美の教養	○			
	教育原論	○			
	保育原理	○			
	法学(日本国憲法)	○			
	児童家庭福祉学	○			
	教育心理学	○			
	健康科学 A	○			
	健康科学 B	○			
	保育の心理学	○			
	子どもの保健・食・栄養	○			
	西洋美術史 A				○
	西洋美術史 B				○
	日本美術史 A				○
デザイン史				○	
色彩学				○	
造形材料学				○	
写真概論				○	
情報メディア基礎演習	○	○	○		
Joshi Foundation English A	○			○	
Joshi Foundation English B	○			○	
1 年 次 生 ～ 2 年 次 生	国際芸術プログラム	○	○		○
	プロジェクト・スタディーズ		○	○	○
	インターンシップ 1		○		○
	インターンシップ 2		○		○
	インターンシップ 3		○		○
	インターンシップ 4		○		○
キャリア形成		○			
2 年 次 生	日本美術史 B				○
	東洋美術史				○
	美学概論				○
	広告論				○
	デザイン法令論				○
	写実実習				○
	記号論				○

※ カリキュラムマップとは、到達指標が、どの授業科目でどのように達成されるかの相関関係を一覧表にしたもの

対象：2023年度入学生（23 ●●●●）

カリキュラムツリー（美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・プロダクト〕）

	1年次				2年次													
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
専 門 科 目					共通プログラム													
	基礎造形 造形概論	美術 コース	造形研究Ⅰ		造形研究Ⅱ	→	卒業制作											
			造形表現Ⅰ	→	造形表現Ⅱ	→												
			美術		絵画	→												
					彫塑	→												
			西洋美術史A		造形論													
		日本美術史A																
	基礎造形 造形概論	デザイン コース	コンピュータ 実習	→	デザイン 基礎Ⅱ	→	デザイン 表現Ⅰ	→	デザイン 表現Ⅱ	→	デザイン 表現Ⅲ	→	デザイン 表現Ⅳ	→	卒業制作			
			デザイン 基礎Ⅰ	→														
			情報デザイン概論	→	情報メディア論													
テキスタイルデザイン概論			→	装飾デザイン論														
プロダクトデザイン概論			→															プロダクトデザイン発想法
デザイン史																		
共 通 科 目	ファンデーション																	
	グローバルな多様性社会に必要な知識を身につける																	
	美大生としての基礎力・創造力を養う																	
	アートを社会と生活に生かす																	
	語学力を高め世界で活躍する																	

※ カリキュラムツリーとは、短期大学部で掲げている教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ及び各授業科目のつながりを示したものの

短期大学部

造形学科

■教育の目標

学生の発想の幅を広げ、実社会での応用力を持った人材を育成します。

■学科の特長

幅広い専門科目と実技科目を置き、現代の多様化する美術、デザインの表現領域を多角的にとらえたカリキュラムとなっています。本人の体験を通して専門分野を絞り込むことができるように選択制を取り入れ、1年次前期は専門領域を限定しないことにより学生はさまざまな表現領域を体験することができます。この事により、後期以降各自が選択する専門領域において、前期に選択した実技経験を活かし個々の専門領域を見極め、より高度な知識・技術を集中的に習得することができます。

そして、卒業後は専攻科への進学や、芸術学部3年次への編入学の道も開かれています。また、芸術学部・短期大学部の間には単位互換協定があり、一部の授業は相互に履修することが可能になっています。

■カリキュラムの概要

1年次前期の実技科目は、18種類の科目から4科目を選択。個々が志す領域に直結した授業を選ぶことはもとより、あえて異なる領域の授業を履修することで自己表現の方法に幅を持たせることが可能となり、自分の個性を見つけ出す第一歩となります。

後期からは、前期で体験した授業を基に、美術コース・デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース）の中から専門領域・分野を選択し、より専門性の高い知識や技術を集中的に習得し、感性を磨いていきます。2年次後期からの卒業制作では、それまで培った知識や技術や表現力をもとに、自己の表現の可能性を探る大切な時間となります。それは2年間の集大成であるとともに、社会に出て活躍するための出発点でもあります。

卒業条件

本学を卒業するために必要な最低修得単位は次の通りです。
卒業を認定された者は、短期大学士（芸術）の学位が授与されます。

Ⅰ 共通科目	A群	知性と感性を高める科目群	6単位以上	24 単位
	B群	コミュニケーション能力を高める科目群	2単位以上 <u>外国語科目2単位選択必修含む</u>	
	C群	こころと身体の健康を高める科目群	2単位以上	
	D群	文化・芸術の科目群	6単位以上	
	E群	自己を見つめ社会への視野を開く科目群	4単位以上 <u>基礎学習ゼミ2単位必修含む</u>	
Ⅱ 専門科目	必修科目・選択必修科目			38 単位
卒業所要単位 合計				62 単位

本学では、十分な学習時間を確保するため、1年間で修得できる単位の上限を1年次42単位、2年次49単位としています。

なお、以下の科目は履修上限単位に含みません。

共通科目E群「サービス・ラーニング」「インターンシップA～D」「国際留学プログラム」
「キャリア形成※」、資格科目

※1年次生のみ

履修登録の際は、総単位数の合計を越えないよう履修科目の調整をしてください。

共通科目（A群～E群）

共通科目は、短大生としてだけでなく、社会人としても不可欠な、広く一般常識をもってしっかりと思考する能力を身につけるための講義・演習科目群と、美術・デザインを専門とする学生が身につけるべき美術芸術科目群によって構成されています。知性と感性を含めた心的能力を高める科目群（A群）、コミュニケーション能力を高める科目群（B群）、こころと身体の健康を高める科目群（C群）、文化・芸術の科目群（D群）、自己を見つめ社会への視野を開く科目群（E群）の5つの群から構成されています。

学生の皆さんは、いったん自分の専門分野から離れ、各群の多彩な科目の中から、自分の興味関心にしたがって主体的に科目を選択し、それらの科目の背後に広がる多様な学問的視点や知見を学び取ることによって、学生としての基礎的教養力を自分のものにすることができるようでしょう。また、そうした能力を、努力し身につけることによって、自分の専門分野をさらに究め、飛躍していくための土台を築くことにもなるでしょう。

< A群～E群科目一覧 > P.48参照

A群 知性と感性を高める科目群

A群の科目は、学生がゆるぎない知的教養と鋭敏な感性を身につけ、さらにそれを磨くことができるよう、さまざまな分野のものの考え方や見方を提供することを目的としています。したがって、この群は、現代の文化・社会・科学にかかわる基本的学問によって構成されています。

A群は、選択の講義科目ですから、必要単位を上回る単位数をとることが可能ですし、自由に選択できる単位数の範囲内で履修することができます。

したがって、学生の皆さんが、自分の関心に基づいて自主的に科目を選択し、積極的に授業に参加することが期待されます。

B群 コミュニケーション能力を高める科目群

コミュニケーション論の学習は言うまでもなく、外国語学習やコンピュータ学習は、基本的なコミュニケーションを成立させるための必須のものです。外国語は外国人とコミュニケーションするための、また、異文化を知るための主要な手段ですが、直接外国人との接触に役立つものであり、外国語の独特の論理を知ることで、異質な論理、すなわち、異文化を知ることができます。

また、コンピュータはもはや言うまでもなく生活、仕事に欠かすことのできない必須のツールです。コンピュータ・リテラシーを身につけることで、生活、仕事におけるコミュニケーション能力を向上させることができます。

C群 こころと身体の健康を高める科目群

C群は、こころと身体に関する知識を深めることで、生涯を通して健やかで充実した生活を送り、QOL（生活の質）の高い日々を実現していただくための基礎的な能力を養うことを目的としている科目群です。丈夫でしなやかなこころと身体があればこそ、創作意欲も湧き、エネルギーあふ制作活動も可能です。また、人生100年時代を豊かに生きていくためには健康であることはもちろん、困難に直面した際にはそれに対応する心身の余力が必要となるでしょう。自身のからだを自身で育むために必要な知識と実践方法を身につけていきましょう。

開講科目と履修について

C群には、演習系科目の「スポーツ演習A～D」と、講義系科目の「子どもの保健・食・栄養」があります。

「スポーツ演習」は、実技（運動）を中心に、健康づくりのための具体的な実践方法を学ぶ演習です。取り組むスポーツや内容によってA～Dの4つに分けられていますので、詳細はシラバスを参照してください（A：各種スポーツ、B：競技性の低いレクリエーションスポーツ、C：フィットネス系、D：集中授業）。なお、スポーツ演習はアルファベットが同じでも科目名が異なれば（例えば、「スポーツ演習C ストレッチ & ヨガ」と「スポーツ演習C ストレッチ & コンディショニング」）、2単位の修得が可能です。

抽選科目について

※演習系科目

「スポーツ演習」は履修申請した科目の希望者が定員を超えた場合は抽選が行われます。抽選に漏れた場合は空きのある科目にのみ再申請することができます。

※講義系科目

「子どもの保健・食・栄養」は講義系科目のため定員はありません。

評価について

「健康科学」「スポーツ演習」は、実技の技術レベル(運動能力)や上達度は全く関係ありません。全時間出席を前提とし、学習内容の理解度や授業への参加態度(学習意欲・積極性など)を重視します。やむを得ない理由での欠席は、「健康科学」は8回まで、「スポーツ演習」は4回までを限度とし(集中授業を除く)、この回数を超えて欠席をした場合は評価の対象となりません。

※講義系科目

「子どもの保健・食・栄養」は、授業回数の3分の2以上の出席の者を評価の対象とします。

D群 文化・芸術の科目群

造形学科全コースの学生を対象に、それぞれの専門分野で応用可能な知識と能力を修得することを第一の目的に、文化・芸術に関わる以下のような性格をもった多彩な講義科目を配置しています。

1. 美術やデザイン、アートを学ぶ上でもっとも基本となる科目
2. 各コースの専門分野に共通するテーマ性を備えた科目
3. 各分野の専門性を深めるとともに視野を広げる科目
4. 創作活動のバックグラウンドとなる理論構築をサポートする科目

以上の枠組みを背景として構成されたこれらの科目の履修については、学生が自由に選択することで美大生にふさわしい幅広い“美術教養”を学修することはもちろんのこと、組み合わせによって専門性を高めることも可能です。

女子美生として自らをデザインするように、学生一人ひとりがその個性に合わせてカリキュラム作りを行ってください。(なおコースによっては、一部の科目を必修・選択必修として指定していますので注意してください。)

E群 自己を見つめ社会への視野を開く科目群

本学は1900年に「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として創立されて以来、これらの建学の精神に基づく教育を行ってきました。共通科目の中でこれを特に意識した科目群が、「自己を見つめ社会への視野を開く科目群」(E群)です。

この科目群には、現代社会において女性が家庭人、社会人、そして地球市民として今日の社会にどのような貢献をなすことが可能なのかを考える科目、社会や企業が求める環境・共生・文化を基盤とした地域社会貢献に関する科目などが準備されています。

今日、社会は基礎的・専門的な教養はもちろん、環境や共生などをキーワードに地域社会に貢献できる素養を求めはじめています。そのような素養を身につけるためには、美術に関する専門的な教養をもとに、自らが主体的に活動することが必要となってきます。このことを視野において、学生自らが参画する授業、共生社会と美術との学際的視点の涵養をめざします。

共通科目 開設一覧 ※塗りつぶし科目は2023年度開講せず

	1年次			2年次			計		
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態			
共通科目	A群	哲学	2	講義	歴史学	2	講義		
		音楽	2		文学	2			
		△日本国憲法	2		生命科学	2			
		数理学	2					6	
		心理学	2						
		△教育原論	2						
		△教育心理学	2						
		保育原理	2						
	保育の心理学	2							
	B群	△英語 I	2	演習	△英語 II	2	演習	2	
		英会話	2						
		△フランス語(初級)	2					2 (外国語科目2単位 選択必修含む)	
		△コンピュータ入門A	2						
		△コンピュータ入門B	2						
	コミュニケーション論	2	講義						
	C群	△健康科学	2	演習				2	
		スポーツ演習A	1						
		スポーツ演習B	1						
		スポーツ演習C	1						
		スポーツ演習D	1						
	子どもの保健・食・栄養	2	講義						
	D群	△西洋美術史 A(美)	2	講義	△日本美術史 B	2	講義	6	
		△西洋美術史 B	2		色彩学演習	2	演習		
		△日本美術史 A(美)	2		△東洋美術史	2	講義		
		デザイン史	2		△美学概論	2			
		美術解剖学	2		現代美術論	2			
		図学	2		インテリア概論	2			
		色彩学	2		広告論	2			
		造形材料学	2		デザイン法令論	2			
		写真概論	2		CAD演習	2			演習
					写真実習	2			実技
			記号論	2	講義				
E群	基礎学習ゼミ	2	講義	ジェンダーアート入門	2	講義	4 (基礎学習ゼミ)2単位必修含む)		
	ジェンダー論	2		芸術と知的財産権	2	講義			
	国際留学プログラム	2	演習	国際留学プログラム	2	演習			
	サービス・ラーニング	2		サービス・ラーニング	2	演習			
	キャリア形成	2	講義	キャリア形成	2	講義			
	社会福祉学	2		インターンシップA	1	実技			
	児童家庭福祉学	2	インターンシップB	2					
	インターンシップA	1	実技	インターンシップC	3				
	インターンシップB	2		インターンシップD	4				
	インターンシップC	3							
インターンシップD	4								

△…教育職員免許状二種免許状(美術)を取得するための必修・選択必修科目。
 「英語I」「フランス語(初級)」「英語II」はいずれか必修。「コンピュータ入門A」「コンピュータ入門B」はいずれか必修。
 「西洋美術史A」「西洋美術史B」はいずれか必修。「日本美術史A」「日本美術史B」はいずれか必修。
 (1年次に美術コースに所属し、2年次にデザインコースに変更した場合は「日本美術史A・B」いずれも必修。)

(美) …美術コース必修科目

<履修上の注意>

B群

●外国語科目

卒業時に必要な単位数

外国語科目の卒業必要単位は2単位です。1年次に、外国語科目の中から最低1科目を履修してください。（外国語科目は演習科目・通年授業なので、授業1コマ＝2単位となります。）

履修要領

外国語科目の授業は、原則、1クラス、定員30名（英会話は定員20名）で行います。

「英語Ⅰ」を履修する1年次の学生は、通常の履修登録画面から登録を行ってください。

「英語Ⅰ」以外の外国語については、Web抽選にて履修者を決定します。指定の期日までに、ポータルサイトで抽選希望登録をしてください。

日本語Ⅰ・Ⅱ

「日本語Ⅰ・Ⅱ」は外国人留学生のための科目であり、卒業に必要な外国語科目の単位として認められます。講義を聴いたり、レポートを書くのに役立つ科目ですので、外国人留学生はなるべく「日本語Ⅰ・Ⅱ」を履修するようにしてください。

なお、日本語Ⅰ・Ⅱについては女子美術大学単位互換科目 P.25 参照。

女子美術大学（杉並校舎）開設 外国語科目

女子美術大学・女子美術大学短期大学部単位互換制度（P.25 参照）に基づき、女子美術大学（杉並校舎）開設の「中国語」「ドイツ語」「イタリア語」を履修することができます。女子美術大学学生の履修を先に確定し、残席がある場合のみ、4月8日（土）以降先着順にて履修を許可します。

C群

●「スポーツ演習」を履修希望の場合

アルファベットが同じでも科目名が異なれば（例えば、「スポーツ演習 C ストレッチ&ヨガ」と「スポーツ演習 C ストレッチ&コンディショニング」）2単位修得することができます。

・履修人数に制限がありますので、Web抽選を行います。ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。抽選に漏れた場合は、空きのある科目にのみ再申請することができます。

・「スポーツ演習 D（ボディメイク）」は杉並キャンパスでの実施です。また、卒業年次に履修する場合は、C群の卒業所要単位を他の科目で満たしたうえで履修してください。

◇演習系科目の抽選方法

Web抽選（4月7日（金）10：00まで）で履修時限が決定しますので、ポータルサイトで抽選希望の登録をしてください。

D群

●「色彩学演習」

2年次に「色彩学演習」を履修する場合は、1年次に「色彩学」を履修しておいてください。

専攻科目 科目等履修

●履修する年度の4月1日現在で満22歳以上の造形学科生について専攻科選択科目の「臨床美術」（夏期集中講義予定）を科目等履修生として履修することができます。履修が決定した段階で約20,000円程度（テキスト代および資格認定費用等）別途かかります。「臨床美術」は単位修得と同時に「臨床美術士」5級資格を取得することができます。なお、修得単位は造形学科の卒業要件単位には含まれません。造形学科卒業後、専攻科に進学した場合は、既修得単位として専攻科の単位に認定します。希望者は履修登録期間中に教育支援センターにて申込手続きをしてください。

美術コース

ファイン・アート（純粋美術）の領域で、自己表現としてのモノ創りが主体となります。平面と立体の垣根を外し、古典技法から現代的表現まで幅広い学習をします。1年次後期より油彩、版画、日本画、塑造などを選択しながら、自らの表現スタイルの確立に向け模索していきます。

1. 教育の目標

自然から謙虚に学ぶことを根幹に置き、見ることと表現することの素晴らしさを追求します。それによって豊かな感性と確かな表現力を身につけるとともに、創作を通して豊かな情操を育成します。

2. 本分野の特長

平面と立体のジャンルにとらわれない、幅広い表現を経験することができます。課題は多くの選択制を導入し、さまざまな素材と技術、媒材や手段を学ぶことで、それぞれに適した表現を探求します。その上で、個性とオリジナリティを尊重した、様々な表現方法へと発展させます。

3. カリキュラムの概要

造形の基本となる学習を1年次では「美術」、2年次では「絵画」や「彫塑」を学び、見ることと表現することの本質的な意味を知ります。

「造形表現Ⅰ・Ⅱ」（Ⅰは1年次、Ⅱは2年次）では、様々な素材、技術を経験して表現の幅を広げます。また「造形研究Ⅰ、Ⅱ」（Ⅰは1年次、Ⅱは2年次）ではそれぞれの領域での深い追及をしていきます。

この様なかたちで、油彩、日本画、版画、彫塑など、さらに専門化した分野で応用や展開を学習して行きます。

1年後期では絵画、版画、彫塑の基礎を学び、2年前期からは、一つの領域を続けて深く学ぶことや、領域を横断しながら学ぶことができます。「卒業制作」ではこれまでの集大成として、それぞれの専門分野での表現を発展させ、個性やオリジナリティを持った制作に繋げていきます。

デザインコース

デザインとは、社会や人にとって有益なモノやコト、トキを表現によって創造する活動です。その分野は多岐にわたります。

デザインコースには、「グラフィック」「メディア」「テキスタイル」「スペース」の4つの分野があり、そのうちから一つを選び学んでいきます。

「グラフィック」は印刷媒体を中心としたヴィジュアルコミュニケーションを、「メディア」は映像・アニメーションをはじめとした多様な媒体表現を、「テキスタイル」は染・織の技術を学びながら暮らしの提案を、「スペース」は家具から都市までより良い生活空間を、それぞれの専門分野に特化した知識や技術、表現力を身につけます。

1. 教育の目標

現代社会のさまざまな場面で、思考力や創造性を生かし幅広く活躍できるクリエイターやデザイナーを育成します。

2. 本分野の特長

一人ひとりの個性を大切に、造形表現の基礎教育および感性を鍛えるトレーニングを積み重ね、既成概念にとらわれない自由な物の見方や発想力を習得します。

3. カリキュラムの概要

デザインの基礎となる観察力や発想力を表現とともに学ぶ「デザイン基礎Ⅰ」、コンピュータソフトの基本的な操作方法を習得する「コンピュータ実習」を全分野共通で学びます。

その後、「グラフィック」「メディア」「テキスタイル」「スペース」の4分野に別れ、「デザイン基礎Ⅱ」「デザイン表現Ⅰ」「デザイン表現Ⅱ」「デザイン表現Ⅲ」の実技授業を通して、各分野の造詣を深めるとともに豊かな創造力と表現力を培っていきます。

集大成としての「卒業制作」では、将来を見据えながら、これまでの学びを活かした新たな作品制作に挑戦していきます。

基礎造形の必須単位が不足している場合、履修登録方法は教育支援センターの指示に従ってください。

専門科目

専門科目 (38 単位履修のこと)

*印の科目は時間割表には表示していません。専門科目時間帯(実技時間帯)に行う授業科目であり、各コースのスケジュール表を参照すること。履修方法については、1年次前期の「基礎造形」に関しては、4月のガイダンスの指示に従ってください。1年次後期以降の実技に関しては、後期選択する分野の研究室の指示に従ってください。

1 年次前期

専門科目

必修科目 (美術コース・デザインコース共通) ※塗りつぶし科目は 2023 年度開講せず

1年次前期			計
科目名	単位	形態	
* 基礎造形 (人体デッサン)	2	18 科目から 4 科目選択	10
* 基礎造形 (油彩)	2		
* 基礎造形 (観察描写)	2		
* 基礎造形 (日本画)	2		
* 基礎造形 (版画)	2		
* 基礎造形 (テラコッタ)	2		
* 基礎造形 (粘土による人体表現)	2		
* 基礎造形 (陶)	2		
* 基礎造形 (写真)	2		
* 基礎造形 (デジタルデザインワーク)	2		
* 基礎造形 (イラストレーション)	2		
* 基礎造形 (ヴィジュアル表現)	2		
* 基礎造形 (空間デザイン表現)	2		
* 基礎造形 (映像)	2		
* 基礎造形 (染)	2		
* 基礎造形 (織)	2		
* 基礎造形 (素材と光の工作)	2		
* 基礎造形 (造形発想ワークショップ)	2		
造形概論	2	講義	

「基礎造形」18 科目の中から4科目を選択し、各2単位、計8単位を履修してください。選択した4種類の科目は、1年次前期の実技時間において、1種類につき3週間、計12週間の授業を行います。

1年次後期～2年次

美術コース

	1年次後期			2年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
必修科目	*美術	2	実技	*造形研究Ⅱ	2	実技	24	28
	*造形研究Ⅰ	3		*造形表現Ⅱ	2			
	*造形表現Ⅰ	1		造形論	2	講義		
	西洋美術史A	2	講義	*卒業制作	6	実技		
	日本美術史A	2		共通プログラム	2	演習		
必修科目 択				*絵画	4	4 実技	4	
				*彫塑	4			

デザインコース（グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース）

※塗りつぶし科目は2023年度開講せず

	1年次後期			2年次			計	
	科目名	単位	形態	科目名	単位	形態		
必修科目	*コンピュータ実習	1	実技	*デザイン表現Ⅰ	2	実技	22	28
	*デザイン基礎Ⅰ	1		*デザイン表現Ⅱ	2			
	*デザイン基礎Ⅱ	4		*デザイン表現Ⅲ	2			
				*デザイン表現Ⅳ	2			
				*卒業制作	6			
				共通プログラム	2	演習		
選択必修科目	情報デザイン概論	2	2 (注1)	講義	テキスタイルデザイン概論	2	6	
	装飾デザイン概論	2			プロダクトデザイン論	2		
	空間デザイン概論	2			情報メディア論	2		
	染織概論	2						
	ニューメディア概論	2						
	環境演出論	2						

(注1) 「染織概論」「ニューメディア概論」「環境演出論」から2単位以上で取得出来ていない場合、「デザイン史」「色彩学」から2単位以上受講することにより「ニューメディア概論」の単位を取得とする。
「デザイン史」「色彩学」を共通科目として単位取得済の場合、2単位分はデザインコース選択必修科目として取り扱う。

カリキュラムマップ（美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース〕）

到達指標

1. 社会人にふさわしい教養、考え方を身につけたか。
2. 美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができるか。
3. 自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたか。
4. 美術、デザインの活動を通じて、広く社会に貢献できる能力を身につけたか。

★専門科目

開講時期	期	科目名	到達指標			
			1	2	3	4
1年次生	前期	基礎造形	○			
		造形概論	○			
	後期	美術		○		
		造形研究Ⅰ	○	○		
		造形表現Ⅰ	○	○		
		西洋美術史A	○	○		
		日本美術史A	○	○		
		コンピュータ実習		○	○	
		デザイン基礎Ⅰ		○	○	
		デザイン基礎Ⅱ		○	○	
		情報デザイン概論	○	○		
		装飾デザイン概論	○	○		
		空間デザイン概論	○	○		
		染織概論	○	○		
		ニューメディア概論	○	○		
		環境演出論	○	○		
2年次生	前期	造形論	○	○		
		共通プログラム	○	○		○
		テキスタイルデザイン概論		○		
		情報メディア論		○		
		絵画		○		
		彫塑		○		
		造形研究Ⅱ		○		
		造形表現Ⅱ		○		
		デザイン表現Ⅰ		○	○	
		デザイン表現Ⅱ		○	○	
	デザイン表現Ⅲ		○	○		
	デザイン表現Ⅳ		○	○		
	後期	プロダクトデザイン論		○	○	
		卒業制作		○	○	

★共通科目

開講時期	期	科目名	到達指標			
			1	2	3	4
1年次生	前期	音楽	○			
		日本国憲法	○			
		教育原論	○			
		保育原理	○			
		保育の心理学	○			
		コンピュータ入門B	○			
		スポーツ演習A～C	○			
		デザイン史	○			
		図学	○			
		色彩学	○			
		造形材料学	○			
		写真概論	○			
		基礎学習ゼミ	○			
		社会福祉学	○			
	後期	哲学	○			
		数理科学	○			
		コミュニケーション論	○		○	
		スポーツ演習A～D	○			
		子どもの保健・食・栄養	○			
		西洋美術史B	○	○		
		美術解剖学	○			
		ジェンダー論	○			
		キャリア形成	○		○	
		児童家庭福祉学	○			
	通年	英語Ⅰ	○			
		英会話	○			
		フランス語（初級）	○			
		健康科学	○			
		国際留学プログラム	○			
		サービス・ラーニング	○		○	
		インターンシップA～D	○			○

2年次生	前期	美学概論	○			
		デザイン法令論	○			
		CAD演習	○	○		
		記号論		○		
		ジェンダーアート入門	○			
	後期	芸術と知的財産権	○			
		歴史学	○			
		文学	○			
		生命科学	○			
		日本美術史B	○			
		東洋美術史	○			
		現代美術論	○			
		インテリア概論	○			
	通年	広告論	○		○	
		写真実習	○	○		
		英語Ⅱ	○			
		色彩学演習	○	○		

※ カリキュラムマップとは、到達指標が、どの授業科目でどのように達成されるかの相関関係を一覧表にしたもの

対象：2022年度入学生（22 ●●●●）

カリキュラムツリー（美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース〕）

	1年次				2年次											
	前期		後期		前期		後期									
専 門 科 目					共通プログラム											
	基礎造形 造形概論	→ 美術 コース	造形研究Ⅰ		造形研究Ⅱ	→	卒業制作									
			造形表現Ⅰ	→	造形表現Ⅱ	→										
			美術		絵画	→										
					彫塑	→										
			西洋美術史A		造形論											
			日本美術史A													
	基礎造形 造形概論	→ デザイン コース	コンピュータ 実習	→	デザイン 基礎Ⅱ	→	デザイン 表現Ⅰ	→	デザイン 表現Ⅱ	→	デザイン 表現Ⅲ	→	デザイン 表現Ⅳ	→	卒業制作	
			デザイン 基礎Ⅰ	→												
			情報デザイン概論	→	情報メディア論											
ニューメディア概論			→													
空間デザイン概論			→									→	プロダクトデザイン概論			
環境演出論			→													
装飾デザイン概論			→	テキスタイルデザイン概論												
共 通 科 目	A群 知性と感性を高める科目群															
	B群 コミュニケーション能力を高める科目群															
	C群 こころと身体の健康を高める科目群															
	D群 文化・芸術の科目群															
	E群 自己を見つめ社会への視野を開く科目群															

※ カリキュラムツリーとは、短期大学部で掲げている教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ及び各授業科目のつながりを示したもの

教育職員免許状取得

今日、幼稚園から高等学校にいたる学校の教員になるためには、教育職員免許法の規定に従って、教員免許状を取得しなければなりません。

現在の教員養成制度では、教員養成を大学で行うことを建前としており、一般には教員養成を行うのに適当であると文部科学大臣が認定した「課程」を置いている大学で、所定の単位を修得したものに対して、所轄庁（都道府県の教育委員会）が教員免許状を授与するという制度になっています。

本学においても教員免許状の取得を希望する者は少なくありません。しかし、実際に教員になるためには、卒業に必要とされる科目の履修はもとより、教員としての固有の専門性を養うとともに、各教科を担当するにふさわしい教養を十分に積むことが求められています。

本学で取得できる教員免許状は、次のとおりです。

学 科	中学校教諭二種免許状
造形学科	美 術

教員養成専修プログラム

教員養成専修は、短期大学部入学後に美術コースやデザインコースの実技を学びながら、中学校教諭二種免許状（美術）の取得を目指し、卒業した後は中学校教諭（学部編入希望の方は中学校または高校教諭）になることを目標とする方を対象としたプログラムです。卒業後、教員になることを目指している方は、教員養成専修プログラムを履修してください。（「教員養成専修」を選択しない場合も中学校教諭二種免許状（美術）を取得する教職課程を履修することはできます。）

教員養成専修プログラム履修内容

中学校教諭二種免許状（美術）取得のための必修科目に加えて、より専門性の高い科目※を履修しつつ、小・中学校など学外での現場体験を積みみます。また教員採用選考対策のための自主的活動の場を設け、教員として必要な自己研修の力を身につけます。

※教育の基礎的理解に関する科目（選択科目）・大学が独自に設定する科目 P.57・59 参照

教職課程の授業科目の構成

免許状取得資格は「教育職員免許法」、「同法施行規則」に定める基礎資格および所要単位を修得したものに与えられ、その単位は教職に特有な専門性を養う目的で定められた「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教職実践に関する科目」、免許教科ごとに必要とされる「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、および「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」に分かれています。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	第66条の6に定める科目
中学校教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	12	6	6	7	4	8

（備 考）

各教科の指導法に関する科目及び教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の大学における最低修得単位数については、当分の間その半数までの単位は当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができます。（免許法施行規則第 4 条備考 9）

教職課程の履修方法（つづき）

- ・中学校教諭二種免許状（美術）を取得するためには卒業要件の単位修得に加え、以下の1～5の科目の単位修得や要件を満たす必要があります。
- ・本学4年制大学への3年次編入学希望者で一種教員免許状を取得する場合、原則として短期大学部において二種免許状を取得しておく必要があります。

1. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分および最低修得単位数			本学で定める最低修得単位数			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	開設 学年	授業科目	単位数	
					必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	6(3)	1	教職概論	2	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		1	教育原論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		1	現代教育論特講A		2
			2	現代教育論特講B		2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		1	教育心理学	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1	特別支援教育論	1	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		1	教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	6(3)	1	道徳教育論	2	
	・総合的な学習の時間の指導法		2	特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む）	2	
	・特別活動の指導法					
	・教育の方法及び技術 ※ 2022 年度入学者～		1	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） ※ 2022 年度入学者～	2	
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 ※ 2022 年度入学者～					
	・生徒指導の理論及び方法		2	生徒指導論（進路指導含む）	2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	教育相談論	2			
教育実践に関する科目	教職実践演習	2	2	教職実践演習（中学校）	2	
	教育実習	5(3)	1	教育実習指導	1	
			2	教育実習A	2	
			2	教育実習B		2
計					24	6

（備考）

- （1）カッコ内の単位数は中学において「美術」の免許状を取得する者の修得すべき最低単位数です。（免許法施行規則第4条備考9）
- （2）前項により「美術」の免許状取得にあたっては「教育実習B」の単位を欠くことができません。
- （3）「教育原論」「教育心理学」は共通科目として卒業所要単位に含めることができます。それ以外の科目は教員免許取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれないので注意してください。
- （4）選択科目（6単位）は、原則教員養成専修学生のみ履修できます（教員養成専修学生以外の履修希望者については選抜します）。

- (5) 「教育実習」は大学における事前・事後指導と、都内外の中学校における現場実習によって単位を修得するため、周到な準備と相応の学力が要求されます。したがって、実習の前提条件として1年次の「教育の基礎的理解に関する科目等」を1年次後期までに修得することが必要となります。また数次にわたる対外折衝を経て実施される関係上、所定の手続を怠ることなく、大学の指示に必ず従ってください。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

各コース分野に応じ、免許法施行規則に定める「各科目に含めることが必要な事項」ごとに決められた最低必要単位数を満たし、かつ、合計で12単位以上修得しなければなりません。（免許法施行規則第4条）

免許状の種類		中学校二種免許状（美術）									
科目区分	各項目に含めることが必要な事項	開設学年	本学で定める開設授業科目	単位数	形態	教職課程履修上の注意	最低必要単位数				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	2	教職絵画	2	演習	必修	3				
			絵画	4	実技						
			コンピュータ演習A※1	1	演習	必修					
		彫刻	1	教職彫塑	2	演習	必修	2			
			2	彫塑	4	実技					
		デザイン（映像メディア表現を含む。）	1	コンピュータ実習	1	実技		3			
				デザイン基礎 I	1	演習					
			2	教職デザイン	2	演習	必修				
					コンピュータ演習B※1	1	演習	必修			
		工芸	美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1	教職工芸	2	演習	必修	2		
					情報デザイン概論	2	講義				
					プロダクトデザイン概論	2	講義				
					西洋美術史A※2	2	講義	いずれか			
							西洋美術史B※2	2	講義	1科目必修	8
							日本美術史A※2	2	講義	いずれか	
					日本美術史B※2	2	講義	1科目必修			
					東洋美術史※2	2	講義	必修			
		2	美学概論※2	2	講義	必修					
			染織デザイン論	2	講義						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	1	美術科教育法A	2	講義	必修	2					

※1 科目の内容に映像メディア表現を含む。

※2 科目の内容に鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。

（備考）

- 専門科目一覧における卒業必修科目がすべて「教科及び教科の指導法に関する科目」として文部科学省から認定を受けている訳ではありませんので、履修については、間違いのないようにしてください。また、上記科目は、一般的・包括的な内容でなければならないと定められていますので、各分野ごとの事項に従い、網羅的に単位を修得しなければなりません。
- 「西洋美術史A」「西洋美術史B」「日本美術史A」「日本美術史B」「東洋美術史」「美学概論」は卒業要件となる共通科目に開設されています。
- 美術コースは1年次専門科目に「西洋美術史A」「日本美術史A」が含まれているので、「教科及び教科の指導法に関する科目」に充当します。
- 「教職彫塑」「教職工芸」「教職絵画」「教職デザイン」「コンピュータ演習A」「コンピュータ演習B」は教員免許状取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれません。

3. 大学が独自に設定する科目

「大学が独自に設定する科目」については、教員免許申請上最低4単位を履修しなければなりません。この4単位は、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」から余剰となる単位を充当することができます。

- ・「総合演習 A」「総合演習 B」は原則教員養成専修学生のみ履修できます。（教員養成専修学生以外の履修希望者については、選抜します）

	1 年 次		
	科 目 名	単 位	形 態
選 択	総合演習 A	2	演習
	総合演習 B	2	

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

法令上、教員の資質として必修が義務付けられている「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分についてふさわしい授業科目を割り当てています。

免許状の種類	中学校二種免許状				
	開設 学年	本学で定める開設授業科目	単 位	形 態	教職課程 履修上の注意
日本国憲法	1	法学（日本国憲法）	2	講義	必修
体育	1	健康科学 A	1	演習	必修
		健康科学 B	1	演習	
外国語コミュニケーション	1	Joshihi Foundation English A	1	演習	必修
		Joshihi Foundation English B	1	演習	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	1	情報メディア基礎演習	2	演習	必修

5. その他の要件

介護等体験 7 日間（特別支援学校：2 日間、社会福祉施設等：5 日間）

平成 10 年 4 月 1 日からは教員の資質向上を図り、義務教育の一層の充実を図る観点から、障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験を行わせることを目的とする「介護等体験」（教育職員免許法の特例等に関する法律より）を 7 日間以上行うことが義務付けられています。本学においては原則 1 年次に実施します。

教育職員免許状の申請手続き等

教育職員免許法に定められた科目・単位を修得した者には、教員免許状が授与されます。教員免許状の申請は本来申請者が免許法に定める「基礎資格」および「所要単位」を修得した後、居住地の都道府県教育委員会（授与権者）に申請手続きをすることが建前となっています。

しかし東京都では、事務処理の都合から、都内に所在する大学を卒業する者が大学を通して一括申請する場合に限り卒業時に免許状を授与する制度をとっています（一括申請という）。一括申請は 1 年次 4 月の教職課程履修登録と同時の申し込みとなります。一括申請ができない場合（単位未修得等）は、卒業後各自で、居住地の教育委員会に申請することになります（個人申請という）。

免許状取得後

卒業後、教員免許状に係る事務はすべて授与権者である都道府県の教育委員会が行うこととなります。したがって、下記の事項については直接授与権者に申請してください。

- 免許状の書きかえ（改姓、本籍変更等）
- 免許状再交付（紛失等では再交付されない。盗難、火災による場合は証明書が必要）
- 免許状授与証明書

なお、「免許状の写し」が必要な時は、本人が免許状を両面ともにコピーし、提出すればよいことになっています。

教員採用選考

卒業後、公立学校の教員を希望する者は、都道府県および市の教育委員会で実施する公立学校教育職員採用選考を受験しなければなりません。

選考日は一定していませんが、多くは7月～8月に実施されています。詳細は各都道府県のホームページを参照してください。

なお、「美術」の教科については中学校教諭の免許状を有する者は、当分の間、美術を担当する小学校の教諭または講師になることができます。

教育職員免許状取得

今日、幼稚園から高等学校にいたる学校の教員になるためには、教育職員免許法の規定に従って、教員免許状を取得しなければなりません。

現在の教員養成制度では、教員養成を大学で行うことを建前としており、一般には教員養成を行うのに適当であると文部科学大臣が認定した「課程」を置いている大学で、所定の単位を修得したものに対して、所轄庁（都道府県の教育委員会）が教員免許状を授与するという制度になっています。

本学においても教員免許状の取得を希望する者は少なくありません。しかし、実際に教員になるためには、卒業に必要とされる科目の履修はもとより、教員としての固有の専門性を養うとともに、各教科を担当するにふさわしい教養を十分に積むことが求められています。

本学で取得できる教員免許状は、次のとおりです。

学 科	中学校教諭二種免許状
造形学科	美 術

教員養成専修プログラム

教員養成専修は、短期大学部入学後に美術コースやデザインコースの実技を学びながら、中学校教諭二種免許状（美術）の取得を目指し、卒業した後は中学校教諭（学部編入希望の方は中学校または高校教諭）になることを目標とする方を対象としたプログラムです。卒業後、教員になることを目指している方は、教員養成専修プログラムを履修してください。（「教員養成専修」を選択しない場合も中学校教諭二種免許状（美術）を取得する教職課程を履修することはできます。）

教員養成専修プログラム履修内容

中学校教諭二種免許状（美術）取得のための必修科目に加えて、より専門性の高い科目※を履修しつつ、小・中学校など学外での現場体験を積みます。また教員採用選考対策のための自主的活動の場を設け、教員として必要な自己研修の力を身につけます。

※教育の基礎的理解に関する科目（選択科目）・大学が独自に設定する科目 P.62・64 参照

教職課程の授業科目の構成

免許状取得資格は「教育職員免許法」、「同法施行規則」に定める基礎資格および所要単位を修得したものに与えられ、その単位は教職に特有な専門性を養う目的で定められた「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教職実践に関する科目」、免許教科ごとに必要とされる「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、および「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」に分かれています。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数					
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	第66条の6に定める科目
中学校教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	12	6	6	7	4	8

（備 考）

各教科の指導法に関する科目及び教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の大学における最低修得単位数については、当分の間その半数までの単位は当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができます。（免許法施行規則第4条備考9）

教職課程の履修方法（つづき）

- ・ 中学校教諭二種免許状（美術）を取得するためには卒業要件の単位修得に加え、以下の 1～5 の科目の単位修得や要件を満たす必要があります。
- ・ 本学 4 年制大学への 3 年次編入学希望者で一種教員免許状を取得する場合、原則として短期大学部において二種免許状を取得しておく必要があります。

1. 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分および最低修得単位数			本学で定める最低修得単位数			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	開設学年	授業科目	単位数	
					必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	6(3)	1	教職概論	2	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		1	教育原論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		1	現代教育論特講 A		2
			2	現代教育論特講 B		2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		1	教育心理学	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		1	特別支援教育論	1	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		1	教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	6(3)	1	道徳教育論	2	
	・総合的な学習の時間の指導法		2	特別活動論（総合的な学習の時間の指導法を含む）	2	
	・特別活動の指導法					
	・教育の方法及び技術 ※ 2022 年度入学者		1	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） ※ 2022 年度入学者～	2	
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 ※ 2022 年度入学者					
	・生徒指導の理論及び方法		2	生徒指導論（進路指導含む）	2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	教育相談論	2			
教育実践に関する科目	教職実践演習	2	2	教職実践演習（中学校）	2	
	教育実習	5(3)	1	教育実習指導	1	
			2	教育実習 A	2	
			2	教育実習 B		2
計					24	6

（備考）

- (1) カッコ内の単位数は中学において「美術」の免許状を取得する者の修得すべき最低単位数です。（免許法施行規則第 4 条備考 9）
- (2) 前項により「美術」の免許状取得にあたっては「教育実習 B」の単位を欠くことができません。
- (3) 「教育原論」「教育心理学」は共通科目 A 群として卒業所要単位に含めることができます。それ以外の科目は教員免許取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれないので注意してください。
- (4) 選択科目（6 単位）は、原則教員養成専修学生のみ履修できます（教員養成専修学生以外の履修希望者については選抜します）。

- (5) 「教育実習」は大学における事前・事後指導と、都内外の中学校における現場実習によって単位を修得するため、周到な準備と相応の学力が要求されます。したがって、実習の前提条件として1年次の「教育の基礎的理解に関する科目等」を1年次後期までに修得することが必要となります。また数次にわたる対外折衝を経て実施される関係上、所定の手続を怠ることなく、大学の指示に必ず従ってください。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

各コース・分野に応じ、免許法施行規則に定める「各科目に含めることが必要な事項」ごとに決められた最低必要単位数を満し、かつ、合計で12単位以上修得しなければなりません。（免許法施行規則第4条）

免許状の種類		中学校二種免許状（美術）								
科目区分	各項目に含めることが必要な事項	開設学年	本学で定める開設授業科目	単位数	形態	教職課程履修上の注意	最低必要単位数			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	2	教職絵画	2	演習	必修	3			
			絵画	4	実技					
			コンピュータ演習A※1	1	演習					
		彫刻	1	基礎造形（テラコッタ）	2	演習	いずれか1科目必修	2		
				基礎造形（粘土による人体表現）	2	演習				
				教職彫塑	2	演習				
		2	彫塑	彫塑	4	実技				
				1	コンピュータ実習	1	実技		3	
					デザイン基礎I	1	演習			
		2	デザイン（映像メディア表現を含む。）	教職デザイン	2	演習	必修			
				コンピュータ演習B※1	1	演習	必修			
				CAD演習	2	演習				
		1	工芸	教職工芸	2	演習	必修	2		
				1	美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	情報デザイン概論	2	講義		8
						装飾デザイン概論	2	講義		
						空間デザイン概論	2	講義		
						染織概論	2	講義		
西洋美術史A※2	2					講義	いずれか1科目必修			
西洋美術史B※2	2					講義				
日本美術史A※2	2					講義	いずれか1科目必修			
日本美術史B※2	2					講義				
東洋美術史※2	2					講義	必修			
美学概論※2	2	講義	必修							
1	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	美術科教育法A	2	講義	必修	2				

※1 科目の内容に映像メディア表現を含む。

※2 科目の内容に鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。

（備考）

- 専門科目一覧における卒業必修科目がすべて「教科及び教科の指導法に関する科目」として文部科学省から認定を受けている訳ではありませんので、履修については、間違いのないようにしてください。また、上記科目は、一般的・包括的な内容でなければならないと定められていますので、各分野ごとの事項に従い、網羅的に単位を修得しなければなりません。
- 「西洋美術史A」「西洋美術史B」「日本美術史A」「日本美術史B」「東洋美術史」「美学概論」は卒業要件となる共通科目D群に開設されています。
- 美術コースは1年次専門科目に「西洋美術史A」「日本美術史A」が含まれているので、「教科及び教科の指導法に関する科目」に充当します。
- 「基礎造形（テラコッタ）」「基礎造形（粘土による人体表現）」は専門科目の選択必修科目として開設されています。
- 「教職彫塑」「教職工芸」「教職絵画」「教職デザイン」「コンピュータ演習A」「コンピュータ演習B」は教員免許状取得のための独立した科目です。卒業要件には含まれません。

3. 大学が独自に設定する科目

「大学が独自に設定する科目」については、教員免許申請上最低4単位を履修しなければなりません。この4単位は、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」から余剰となる単位を充当することができます。

- ・「総合演習 A」「総合演習 B」は原則教員養成専修学生のみ履修できます。(教員養成専修学生以外の履修希望者については、選抜します)

	1 年 次		
	科 目 名	単 位	形 態
選 択	総合演習 A	2	演習
	総合演習 B	2	

4. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

法令上、教員の資質として必修が義務付けられている「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分についてふさわしい授業科目を割り当てています。

免許状の種類	中学校二種免許状				
免許法施行規制に定める科目区分	開設学年	本学で定める開設授業科目	単 位	形 態	教職課程履修上の注意
日本国憲法	1	日本国憲法	2	講義	必修
体育	1	健康科学	2	演習	必修
外国語コミュニケーション	1	英語 I	2	演習	いずれか 1 科目必修
		フランス語 (初級)	2	演習	
	2	英語 II	2	演習	
情報機器の操作	1	コンピュータ入門 A	2	演習	いずれか 1 科目必修
		コンピュータ入門 B	2	演習	

5. その他の要件

介護等体験 7 日間 (特別支援学校：2 日間、社会福祉施設等：5 日間)

平成 10 年 4 月 1 日からは教員の資質向上を図り、義務教育の一層の充実を図る観点から、障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験を行わせることを目的とする「介護等体験」(教育職員免許法の特例等に関する法律より)を 7 日間以上行うことが義務付けられています。本学においては原則 1 年次に実施します。

教育職員免許状の申請手続き等

教育職員免許法に定められた科目・単位を修得した者には、教員免許状が授与されます。教員免許状の申請は本来申請者が免許法に定める「基礎資格」および「所要単位」を修得した後、居住地の都道府県教育委員会(授与権者)に申請手続きをすることが建前となっています。

しかし東京都では、事務処理の都合から、都内に所在する大学を卒業する者が大学を通して一括申請する場合に限り卒業時に免許状を授与する制度をとっています(一括申請という)。一括申請は 1 年次 4 月の教職課程履修登録と同時の申し込みとなります。一括申請ができない場合(単位未修得等)は、卒業後各自で、居住地の教育委員会に申請することになります(個人申請という)。

免許状取得後

卒業後、教員免許状に係る事務はすべて授与権者である都道府県の教育委員会が行うこととなります。したがって、下記の事項については直接授与権者に申請してください。

- 免許状の書きかえ（改姓、本籍変更等）
- 免許状再交付（紛失等では再交付されない。盗難、火災による場合は証明書が必要）
- 免許状授与証明書

なお、「免許状の写し」が必要な時は、本人が免許状を両面ともにコピーし、提出すればよいことになっています。

教員採用選考

卒業後、公立学校の教員を希望する者は、都道府県および市の教育委員会で実施する公立学校教育職員採用選考を受験しなければなりません。

選考日は一定していませんが、多くは7月～8月に実施されています。詳細は各都道府県のホームページを参照してください。

なお、「美術」の教科については中学校教諭の免許状を有する者は、当分の間、美術を担当する小学校の教諭または講師になることができます。

■教育の目標

短期大学における大学院にあたり、少人数制で密度の濃い1年の課程によって学生ひとりひとりのキャリアに広がりとお行きを与えていきます。実践に即した専門的知識と高度な技術の習得を目指します。

■学科の特長

「大学改革支援・学位授与機構認定専攻科」となっているため、大学卒業と同等の資格「学士の学位」取得を目指す場合、専攻科で修得した単位をすべて学位申請用の単位とすることが可能です。また、現代の美術やデザインに求められる幅広い知識から、プレゼンテーションの技術等まで、社会に対応した実践的なスキルアップが可能な科目を設置しています。

■カリキュラムの概要

1年間、美術コース、デザインコースに分かれて実技を中心とした専門教育を行います。各コースにおける必修の専門科目のほか、共通の必修科目、選択科目を設置しており、共通の選択科目の中ではコースに関わり無く幅広い分野の様々な科目を履修する事ができます。

短期大学部専攻科履修方法

専攻科修了の資格を得るためには、必修科目 30 単位を修得しなければなりません。表中の*印の科目は、時間割表には「演習（実技）」と表示されていますので、履修方法については各研究室の指示に従ってください。

開設科目一覧

●共通選択科目

選 択 科 目	講義	演習	実技
企画・プレゼンテーション技法	2		
舞台美術表現	2		
保存修復学	2		
アニメーション論	2		
パブリックアート論	2		
美術館博物館学	2		
臨床美術	2		
古美術研究		2	
国際留学プログラム		2	
サービス・ラーニングⅡ		2	
インターンシップⅡA			1
インターンシップⅡB			2
インターンシップⅡC			3
インターンシップⅡD			4

1. 臨床美術

「臨床美術」（夏期集中講義予定）の授業を受け単位修得することにより「臨床美術士」5級の資格を取得することができます。

履修が決定した段階でテキスト代および資格認定費用等として別途費用（約 20,000 円程度）を事前に所定の期間に納入する必要があります。

また、単位のみ修得することはできませんので注意してください。

詳細については、杉並教育支援センターに確認してください。

2. インターンシップ

インターンシップとは学生が一定期間企業等において研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行う制度のことを言います。インターンシップ先が決まりましたらキャリア支援センターに報告してください。

〔単位認定するインターンシップ〕

本学では主に夏期・冬期休業期間を利用し、自分の専門分野に関連する企業の現場（或いはこれに類する場所）において、一定期間の実習（事前・事後指導を含む）を行うことで単位の修得が可能です（春期休業中の実習は除く）。なお、修得する科目名称・単位数は実習期間に応じて異なります。

●美術コース

必修・選択必修科目		講義	演習	実技
* 絵画Ⅰ	5	}	5	
* 彫塑Ⅰ	5			
* 絵画Ⅱ	5	}	5	
* 彫塑Ⅱ	5			
* 絵画演習Ⅰ	3	}	3	
* 彫塑演習Ⅰ	3			
* 絵画演習Ⅱ	3	}	3	
* 彫塑演習Ⅱ	3			
* 修了制作	6			6
造形特論A	2	2		
造形特論B	2	2		
現代造形論	2	2		
女性作家史	2	2		

●デザインコース

必修・選択必修科目		講義	演習	実技
* グラフィック表現演習	6	}	6	
* メディア表現演習	6			
* テキスタイル表現演習	6			
* スペース表現演習	6			
* 自由研究(グラフィック)	4	}	4	
* 自由研究(メディア)	4			
* 自由研究(テキスタイル)	4			
* 自由研究(スペース)	4			
* グラフィック表現研究	6	}	6	
* メディア表現研究	6			
* テキスタイル表現研究	6			
* スペース表現研究	6			
* 修了制作	6			6
デザイン論	4	}	4	
ソフトマテリアル論	4			
現代造形論	2	2		
女性作家史	2	2		

本学ポータルサイト「Active Academy」Web履修登録の手順について

■ポータルサイト基本事項

○ログインページ <https://aa.joshibi.net/>

* 「http」でなく「https」ですのでご注意ください。

○ユーザーID：学籍コード

○パスワード：別紙にて配付

* 上記パスワードで女子美Gmail、マイライブラリー（図書館ポータル）へログインができます。

○稼働時間 毎日7:30～翌2:00

○停止期間 毎日2:00～7:30はメンテナンスのため稼働しません

■履修登録

2023年度履修登録スケジュール		7:30	9:30	10:30	13:00	14:00	17:00	翌2:00
4月 4日 (火)	履修登録開始9:30～							
4月 5日 (水)	↑							
4月 6日 (木)								
4月 7日 (金)	履修登録期間 ↑ 抽選科目登録締切～10:00 ↓ 停止期間 ↓ 抽選結果発表10:30～							
4月 8日 (土)	履修登録締切～17:00 ↓ 抽選結果発表10:30～							
4月 9日 (日)								
4月 10日 (月)	前期授業開始							
?								
4月 17日 (月)	↑ 履修訂正開始9:30～							
4月 18日 (火)	↓ 期間							
4月 19日 (水)	↓ 訂正							
4月 20日 (木)	↓ 訂正内容確認・最終訂正締切～17:00							

※網掛け部分はWEB履修稼働時間

* 接続の制限時間は30分です。30分以上検索や登録等がないと接続が終了されます。

履修登録中は制限時間間近になったら、検索・登録ボタンを押すなどしてください。

* ポータルサイトの利用を終了する時は、必ず「ログアウト」を押してください。

本学ポータルサイト「Active Academy」のログイン方法

①ポータルサイトのログインページの表示

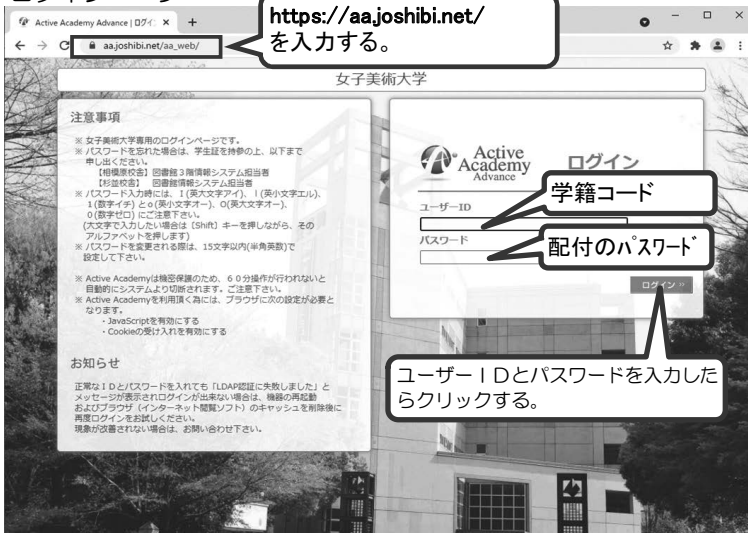
Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari等のブラウザを起動し、上記アドレスを入力し本学ポータルサイト「Active Academy」のログインページを表示してください。

②ログイン

ログインページが表示されましたら、注意事項とお知らせを確認してください。

ユーザーID及びパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ログインページ



※Webシステムの制限事項

(1) 以下のブラウザの最新バージョンについて動作確認を行っています。

- ・Microsoft Edge
- ・Firefox
- ・Safari
- ・Google Chrome

(2) ブラウザの設定で以下の設定を有効にしてください。

(ブラウザごとに設定が異なります。各ブラウザのヘルプ等をご参照ください。)

- ・Cookie
- ・JavaScript

ポータルトップ画面とメニュー・機能一覧

ログインすると以下の画面が表示されます。

ここが自分の名前になっていることを確認してください。

【My Scheduleの機能】
履修している授業、学校のスケジュール、登録した予定等が表示されます。日・週・月単位に表示を変更することができます。
(授業教室変更の場合は掲示板でお知らせします。)

補講日程はポータルサイトのトップ画面のMy Scheduleには反映されません。
(通常の授業日にスケジュールが表示されています。)集中補講日の時間割については、必ず別途掲示を確認してください。

【お知らせ・連絡事項の機能】
本学からあなた宛に配信された連絡が表示されます。メール配信が指定された連絡は、「プロフィール変更」のメインのメールアドレスに配信されます。

【休補講情報の機能】
あなたが履修登録した科目で休講連絡があったものが表示されます。メール送付が指定された連絡は、「プロフィール変更」のメインのメールアドレスに配信されます。

【レポート提出情報の機能】
あなたが履修登録している科目のうち、教員がポータル上でレポート提出の設定をした科目の情報が表示されます。

【メニューの機能】

■掲示板

- 学年暦
- 個人へのお知らせ
- 連絡事項
- 休補講情報
- リンク登録

主な行事を確認できます。
お知らせが閲覧できます。
連絡事項が閲覧できます。
休講情報が確認できます。
各自でリンク先を登録できます。

■授業支援

- 履修登録
- 通年授業履修取消申請
- 抽選授業希望登録
- 授業抽選結果
- レポート提出
- シラバス

履修する授業を登録できます。
通年授業科目の履修中止ができます。(後期履修訂正期間)
抽選科目の希望登録ができます。
抽選結果が確認できます。
教員がポータル上で設定したレポートの提出及び提出状況の確認ができます。
シラバスを参照できます。

■就職活動支援

- 企業検索

企業を検索できます。(随時更新予定)

■MyInformation

- プロフィール変更
- パスワード変更
- 修学ポートフォリオ
- 女子美Gmail

プロフィールの参照、メールアドレスの設定及び変更ができます。
(メインのメールアドレスに休講情報等が転送されます)
パスワードを変更できます。
「登録されている個人情報」「成績表」「履修情報」「出欠情報」「就職情報」「GPA」(※2016年度以降の入学生)を確認することができます。
女子美Gmailのログイン画面が別が開きます。

■アクセス終了

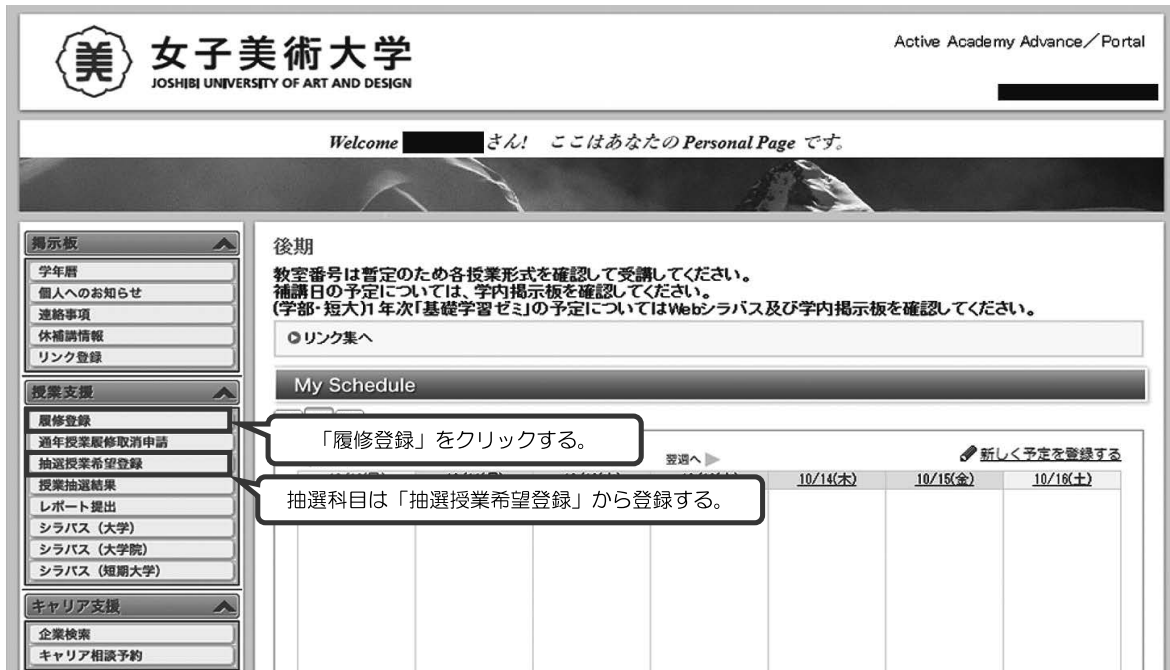
- ログアウト

ポータルサイトの利用を終了する時は必ず画面の「ログアウト」を押してください。

* 学生生活に必要な情報や授業に関する事柄を連絡していきます。
毎日必ず自分のポータル画面をご覧ください。

■授業支援システム 《履修登録》

1、ポータル画面より、履修登録を起動します。



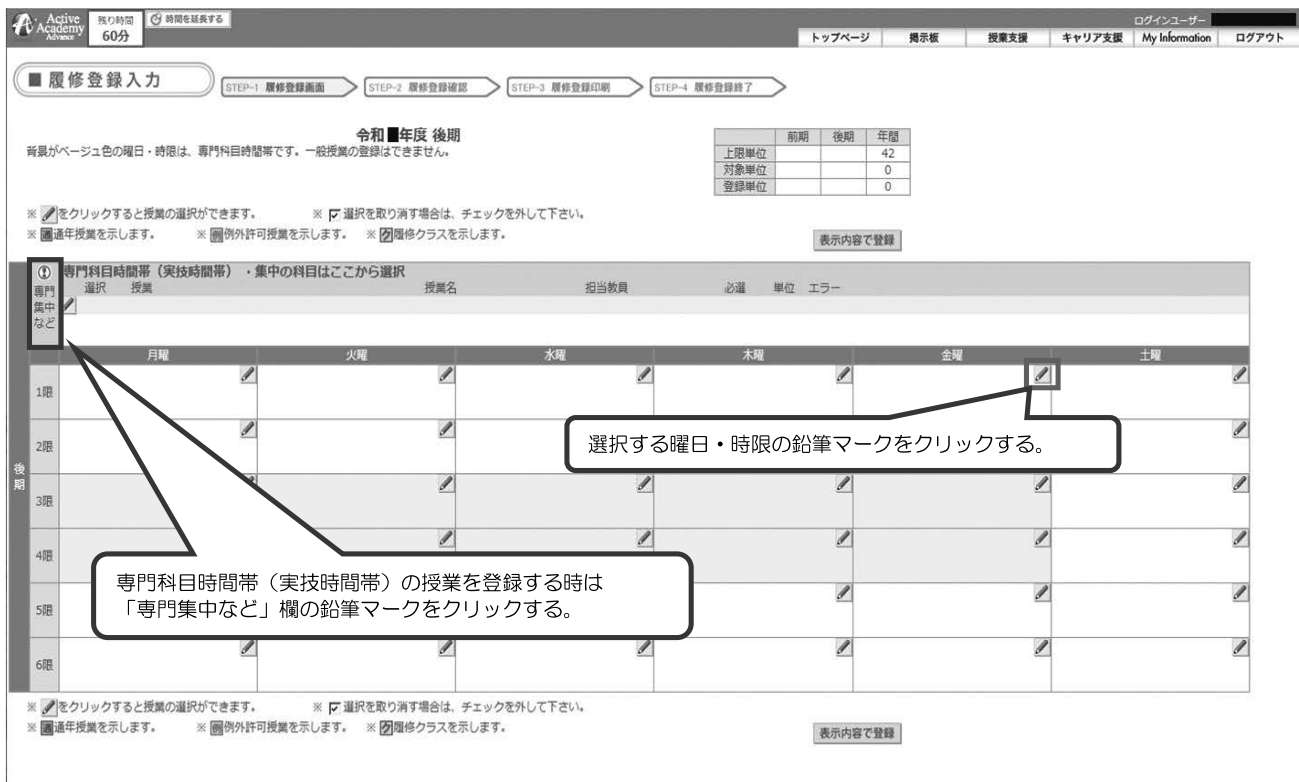
2、履修する授業を選択します。

履修登録している授業が一覧表示されます。

曜日・時限表は「前期」「後期」の2つあり、前期科目は「前期」、後期科目は「後期」、通年科目は両方で選択できます。今年度に履修登録する全授業科目（後期科目も含む）を登録します。（短大造形学科1年は後期科目のみ7月に登録します）

抽選科目は「抽選授業希望登録」から登録になります。抽選科目の希望登録する方は、抽選結果が履修に影響するため、抽選結果公表後に抽選科目以外の履修登録をしてください。授業を選択する曜日・時限にある鉛筆マークをクリックします。専門科目時間帯（実技時間帯）の授業の選択は、「専門集中など」の鉛筆マークをクリックします。網掛けの時間帯は専門科目時間帯（実技時間帯）です。講義系科目は原則履修登録できません。（大学院は除く）

画面1 履修登録入力



■授業支援システム 《履修登録》

「曜日・時限」「専門集中など」をクリックすると、自分の所属と学年が履修できる授業の一覧が表示されます。この中から履修する授業を選択してチェックを付けます。他学科科目（反対校地開設授業）を履修する場合は、「学部学科」を反対校地の学科に変更してください。「曜日・時限」欄では重複履修できないため原則選択は1科目ですが、「専門集中など」欄は複数選択が可能です。授業名で下線のあるものをクリックすることで、その授業のシラバスを表示することができます。「登録して戻る」をクリックすることで、チェックを付けた授業が登録されます。授業を登録せずに入力画面に戻るときは、「破棄して戻る」をクリックします。

画面2 授業一覧からの選択

他学科科目（反対校地開設授業）を履修する場合は、「学部学科」を反対校地の学科に変更してください。

違う条件の授業を検索する（条件を入力して検索ボタンを押して下さい）

学期 後期 曜日 水曜 時限 1限

学部学科 10 美術学科洋画専攻 学年 年 表示する授業 全ての授業

※他学科科目（反対校地開設授業）を履修する場合は、希望の「学部学科」を選択してください

再検索する

<検索結果> 4件の授業が該当しました。

※ 選択する場合は、チェックを付けて下さい。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

曜日	時限	選択	授業	授業名	期間	担当教員	必修	単位	定員	申請人数	状態
水曜	1限	<input type="checkbox"/>	2130C	日本画画法	後期		選択	2	-	27	
水曜	1限	<input type="checkbox"/>	2321A	心身医学	後期		選択	2	-	60	
水曜	1限	<input type="checkbox"/>	2466D	国学A	後期		選択	2	45	45	既に定員に達しています
水曜	1限	<input type="checkbox"/>	2548A	キャリア形成A	後期		選択	2	-	53	

↑ここをチェック

※ 選択する場合は、チェックを付けて下さい。 ※ 選択を取り消す場合は、チェックを外して下さい。

登録して戻る 破棄して戻る

履修する授業をチェックする。チェック出来ない科目は抽選科目です。「抽選授業希望登録」から申し込んでください。

授業名をクリックするとその授業のシラバスが表示されます。

登録して戻る 破棄して戻る

■授業支援システム 《履修登録》

「登録して戻る」をクリックすると、選択した授業が履修登録入力画面に反映されます。

画面1 履修登録入力

令和 年度 後期

	前期	後期	年間
上限単位		42	
対象単位		37	
登録単位		37	

表示内容で登録

取り消す時はチェックを外す。

選択した授業が反映される。

一度選択した授業を取り消す場合は、授業名称左のチェックを外します。

別の授業に変更する場合は、鉛筆マークをクリックして、選択済みの授業のチェックを外し、別の授業を選択します。

3、選択した授業を登録します。

今年度に履修登録する全授業科目（抽選科目・後期科目も含む）の選択を終えたら「表示内容で登録」をクリックします。クリック後、エラーチェックが行われ、履修登録の内容により、3-①[エラー無し]、3-②[エラー]、3-③[警告]の3種類の結果が表示されます。

画面1 履修登録入力

表示内容で登録

履修登録する授業を確認後、クリックする。

■授業支援システム 《履修登録》

3-① エラー無しの場合（履修登録の確定）

登録にエラーはありませんでした。表示された内容を確認し、間違いがなければ「登録確定」をクリックします。ここで、「登録確定」を押さなければ登録内容は反映されないので注意してください。→「4. 登録を終了します」へ授業を変更するときは、「登録変更」をクリックして履修登録入力画面に戻り、再度授業を選択し直します。履修登録を取りやめるときは「登録中止」をクリックします。

画面4 履修登録確定

間違ったくない時、登録確定をクリックする。ここで「登録確定」を押さなければ登録内容は反映されないので注意。→「4. 登録を終了します」へ

変更が必要な時、登録変更をクリックする。

登録を中止する時、登録中止をクリックする。

① 専門集中など	授業	授業名	担当教員	必修	単位	エラー
	2AAXA	美術選択専攻A(彫塑)		選択	2	
	2B03A	絵画I A		必修	6	
	2B06A	絵画I B				
	2B09A	デザインI				

	月曜	火曜	水曜	木曜	土曜	日曜
1限	2ABDA 美術選択専攻A(彫/描) 選択 2	2103A 哲学 選択 2				
2限	2ABDA 美術選択専攻A(彫/描) 選択 2		2412A 日本美術全集 必修 4	2B12A 基礎構成造器 必修 2	2257E コンピュータ入門A 選択 2	
3限						
4限						
5限				2403A 西洋美術全集 必修 4		
6限						

3-② エラーがある場合

「表示内容で登録」をクリックしたとき、エラーがある場合は、次のメッセージウィンドウが表示されて履修登録入力画面に戻ります。



履修登録入力画面では、履修エラーが発生した部分に、エラーマークと、エラー内容が表示されています。エラー内容の部分をクリックすると、エラーの詳細画面が、別ウィンドウで表示されます。エラーの詳細を確認し、エラーが発生した部分の履修を修正してください。

すべてのエラーが無くなると、「表示内容で登録」をクリックしたときに、画面4 履修登録確定が表示されるようになります。エラーが無くならないと、登録が確定できません。

■授業支援システム 《履修登録》

画面1 履修登録入力

■履修登録入力

STEP-1 履修登録画面 → STEP-2 履修登録確認 → STEP-3 履修登録印刷 → STEP-4 履修登録終了

令和 年度 前期

		GPAなし	
	前期	後期	年間
上限単位			42
対象単位			20
登録単位			20

※特別に許可された授業を選択する場合はこちらから → 例外許可授業を選択する

※ をクリックすると授業の選択状態が変更され、チェックを外して下さい。

※ 通年授業を表示します。

クリックすると、エラーの詳細が別ウィンドウで表示される。エラー表示が無くなるよう修正する。エラーを無くしないと履修登録を確定できません。

表示内容で登録

エラーが無くなったら、「表示内容で登録」をクリックする。

必修	単位	エラー
<input type="checkbox"/>	必修 2	
<input type="checkbox"/>	必修 2	
<input type="checkbox"/>	必修 2	
<input type="checkbox"/>	必修 2	

1限

前期

Active Academy | エラー詳細画面 - Windows Internet Explorer

http://172.16.4.37/aa_web/rishuuTouroku/rt0220.aspx#err04

03	科目が重複	履修登録した科目が重複しています。同じ科目は1つしか履修できません。
04	曜限が重複	指定した時間割の曜日・時限が重複しています。
06	制限科目	この科目の履修制限科目を満たしていません。
07	排除科目	排除科目の制限を越えています。同じグループの科目の中で、別の科目が既に履修されているので、入力した科目は履修できません。
13	卒業単位不足	【警告】卒業単位が不足しています。注意して下さい。

エラーの詳細を表示します。

ページが表示されました

■授業支援システム 《履修登録》

3-③ 警告がある場合

「表示内容で登録」をクリックしたとき、警告がある場合は、画面4 履修登録確定に進みます。

警告が発生した部分に、警告マークと、警告内容が表示されています。

警告内容の部分をクリックすると、エラーの詳細画面が、別ウィンドウで表示されます。

警告があっても、間違いではない場合、履修の修正をせずに履修登録確定はできますが、必ず詳細を確認してください。

画面4 履修登録確定

令和 年度 前期

変更が必要な時、登録変更をクリックする。

履修登録の登録内容を確認して下さい。

間違いがない時、登録確定をクリックする。

登録確定 登録変更 登録中止

登録を中止する時、登録中止をクリックする。

授業に関わらないエラー

卒業単位不足8単位

クリックすると、警告内容が別ウィンドウで表示される。警告表示が無くなるよう修正する。修正の必要が無い時はそのまま登録が確定できる。

月	年間	GPA 4
		49
		10
		10

エラーの詳細説明

エラーコード	エラー項目	エラー詳細
03	科目が重複	履修登録した科目が重複しています。同じ科目はひとつしか履修できません。
04	曜日が重複	指定した時間割の曜日・時限が重複しています。
06	制限科目	この科目の履修制限科目を満たしていません。
07	排他科目	排他科目の制限を越えています。同じグループの科目の中で、別の科目が既に履修されているので、入力した科目は履修できません。
13	卒業単位不足	【警告】卒業単位が不足しています。注意して下さい。

警告の詳細を表示します。

4、登録を終了します。

履修のエラーが無くなり、画面4 履修登録確定で「登録確定」をクリックすると、画面5 履修登録印刷に移動します。

画面5 履修登録印刷画面

履修登録が完了しました。

「確認表を印刷」をクリックし、必ず登録内容を印刷する。

「登録終了」で履修登録を終了します。

確認表を印刷 登録終了

期間	曜日	時限	授業	授業名	担当教員	必修	単位	注意
通年	-	-	2AAXA	美術選択実習A(彫塑)		選択	2	
通年	-	-	2B03A	絵画1A		必修	6	
通年	-	-	2B06A	絵画1B		必修	5	
通年	-	-	2B09A	デッサンI		必修	2	
通年	月曜	2限	2B12A	器楽構成演習		必修	2	
通年	水曜	2限	2412A	日本美術金奖		必修	4	
通年	金曜	2限	2B12A	器楽構成演習		必修	2	
通年	金曜	5限	2403A	西洋美術金奖		必修	4	
後期	月曜	1限	2ABDA	美術選択実習A(美/描)		選択	2	
後期	月曜	2限	2ABDA	美術選択実習A(美/描)		選択	2	
後期	火曜	1限	2103A	哲学		選択	2	
後期	土曜	2限	2257E	コンピュータ入門A		選択	2	

履修登録の確認のために当画面の「確認表を印刷」ボタンを押して、PDF出力を行ってください。終了ボタンを押して下さい。終了画面へ進みます。

登録終了

■授業支援システム 《履修登録》

「確認表を印刷」をクリックすると、履修登録内容をPDF形式で表示します。
ここで必ず確認表を印刷しておいてください。

特に履修訂正の際、その印刷がない場合、履修登録内容が自分の履修計画と異なっても、再訂正は一切認められません。

令和 ■年度 履修登録確認表 (後期)

学 生 所 属 学籍番号 学生氏名

前 期 後 期
上限単位
上限科目数

データで保存する。 印刷する。

曜日	時間	期間	授業コード	授業科目名	担当教員名	必修	単位	教室名	抽選	備考	エラー内容
月	1	後期	2A02A	美術選択演習A(画/書)	■■■■	選択	2	ドローイング			
	2	後期	2A02A	美術選択演習A(画/書)	■■■■	選択	2				
	3										
	4										
	5										
	6										
火	1	後期	2103A	哲学	■■■■	選択	2	S133			
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
水	1										
	2	通年	2412A	日本美術全史	■■■■	必修	4	S224			
	3										
	4										
	5										
	6										
木	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
金	1										
	2	通年	2B12A	基礎構成演習	■■■■	必修	2				
	3										
	4										
	5	通年	2403A	西洋美術全史	■■■■	必修	4	S224			
	6										
土	1										
	2	後期	2257E	コンピュータ入門A	■■■■	選択	2	S1317			
	3										
	4										
	5										
	6										

ポータルサイトの利用が終わったら、画面の「ログアウト」をクリックして終了します。

画面6 履修登録完了

Active Academy Advance

残り時間 60分 時間を延長する

ログインユーザー My Information ログアウト

トップページ 掲示板 授業支援 キャリア支援

■ 履修登録完了

STEP-1 履修登録画面 STEP-2 履修登録確認 STEP-3 履修登録印刷 STEP-4 履修登録終了

履修登録が完了しました。
おつかれさまでした。

TOP画面へ戻る場合はこちらへ → [トップページ](#)

ログアウトする場合はこちらへ → [ログアウト](#)

■授業支援システム 《履修登録》

資料「エラー詳細画面」

全てのエラーをなくしないと、履修登録は完了できません。
ただし、エラー詳細で【警告】となっている項目は、修正を行わなくても履修登録を確定することが可能です。

画面7 エラー詳細画面


Active Academy

■ エラー詳細説明画面

エラーの詳細説明

エラーコード	エラー項目	エラー詳細
03	科目が重複	履修登録した科目が重複しています。同じ科目はひとつしか履修できません。
04	曜限が重複	指定した時間割の曜日・時限が重複しています。
06	制限科目	この科目の履修制限科目を満たしていません。
07	排他科目	排他科目の制限を越えています。同じグループの科目の中で、別の科目が既に履修されているので、入力した科目は履修できません。
13	卒業単位不足	【警告】卒業単位が不足しています。注意して下さい。
15	分割科目未履修	【警告】分割科目が未履修です。新カリキュラムの科目は、全ての分割科目を履修しないと単位として認められませんので、注意して下さい。
17	履修上限超過	履修登録した授業の単位数が上限値に達しています。履修上限値と現在の登録単位数は画面右上で確認して下さい。（上限単位：履修登録できる上限単位数、対象単位：上限チェック対象科目の合計単位数、登録単位：上限チェック対象科目以外も含む全科目の合計単位数）
63	重複再履修申請不可	重複再履修として申請できません。再履修者以外は申請できません。
65	同一曜限の授業がない	重複再履修として履修登録する場合は、同じ曜日・時限に別の授業の履修登録されていなければなりません。
66	集中講義期間が重複	指定した集中講義の期間が重複しています。
67	必修科目不足	必修科目の履修登録が不足しています。
68	卒業科目不足	【警告】卒業科目が不足しています。注意して下さい。
69	重複履修上限超過	重複履修の上限回数を越えているため、履修できません。
81	卒業要件マスタ未登録	【警告】卒業要件マスタが未登録です。教務課にお問い合わせをお願いします。
112	履修登録できないエラー	この授業の履修登録はできません。詳細は教務課までお問い合わせをお願いします。

閉じる

■授業支援システム 《抽選授業希望登録》

1、ポータル画面より、抽選授業希望登録を起動します。

女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

Active Academy

Welcome ■■■■■さん! ここはあなたの Personal Page です。

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大)1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。

◎ リンク集へ

My Schedule

日 週 月

先週へ 01/15(日) ~ 01/21(土) 次週へ

01/15(日) 01/16(月) 01/17(火) 01/18(水) 01/19(木) 01/20(金) 01/21(土)

新しく予定を登録する

(開始)集中補講 (終了)集中補講

「抽選授業希望登録」をクリックする。

2、抽選グループを選択します。

希望を登録する抽選科目が含まれるグループを一覧から選択します。
「抽選グループ名」をクリックすると抽選授業希望登録画面が表示されます。

画面1 抽選グループ一覧

Active Academy

トップページ 提示板 授業支援 就職活動支援

■ 抽選授業希望登録 グループ一覧

STEP-1 グループ一覧 STEP-2 希望登録

年度 前期

あなたが申し込みできる抽選グループの一覧です

※ 抽選グループ名をクリックし、抽選授業希望登録画面から、希望順位を登録して下さい。
※ 全抽選グループの登録が終了したら、[登録内容を印刷する]ボタンをクリックし、PDF出力を行って下さい。

登録内容を印刷する

抽選グループ名	申込状況
◎ 外国語1・3年次(1・2・5時限開設)	
◎ 学部共通科目C群(体育系)	
◎ コンピュータ入門A	
◎ コンピュータ入門B	
◎ 図学A	
◎ 図学B	

抽選登録をするグループをクリックする。

3、抽選授業の希望を登録します。

グループ内の抽選授業の希望順位を登録します。1グループ内で当選する授業は原則1つです。
 当選した抽選授業は履修登録済となり、取り消す場合は、履修登録画面から選択のチェックをはずしてください。
 (「美術選択実技・演習A、B」「美術共通実技・演習A、B」「デザイン工芸選択実技A、B」等、一部の抽選科目は取り消しできません)

グループで指定されている希望順位全てまたは希望順位以内で、「希望順位」を登録します。
 「登録確定」をクリックすると希望内容を登録し、画面1 抽選グループ一覧に戻ります。
 「登録中止」をクリックすると希望内容を破棄し、画面1 抽選グループ一覧に戻ります。

画面2 抽選授業希望登録

年度 前期

外国語1・3年次(1・2・5時間開設) グループ

第3希望以内で登録してください(任意)

当選授業数は1つです。
抽選後、定員に空きが出た授業は先着順で履修登録可能です。

※ 当選授業は取消できません

希望順位	授業コード	授業名	単位	(参考)第1希望申込	定員	備考
第1希望	2031	英語Ⅰ	2		35	
第2希望	2032	英語Ⅰ	2			
第3希望	2033	英語Ⅰ	2			
	2034	英語Ⅰ	2			
	2121	英会話A	2		20	
	2181	特設英語	1		35	
	22182	特設英語	1		35	
	22183	特設英語	1		35	

登録確定 登録中止

「登録内容を印刷する」をクリックすると、抽選希望登録内容をPDF形式で表示します。

https://aa.joshibi.net/test/crt_PrintPreview.aspx - Windows Internet Explorer

https://aa.joshibi.net/test/crt_PrintPreview.aspx

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN [JP]

年度 抽選授業希望登録確認表 (前期)

学籍番号 学生氏名 ※当選授業は取消できません

外国語1・3年次(1・2・5時間開設)

希望順位	授業コード	授業科目名	担当教員名	期間	曜日・時間	単位
第1希望	2031	英語Ⅰ		通年	火曜1限	2
第2希望	2033	英語Ⅰ		通年	金曜2限	2
第3希望	22121	英会話A		通年	火曜3限	2

ポータルサイトの利用が終わったら、画面の「ログアウト」をクリックして終了します。

■授業支援システム 《抽選授業結果》

1、ポータル画面より、授業抽選結果を起動します。

女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

Active Academy

Welcome ■■■さん! ここはあなたの Personal Page です。

TOP
このページです
掲示板
学年層
個人へのお知らせ
連絡事項
休補講情報
リンク登録

授業支援
履修登録
通年授業履修中止申請
抽選授業希望登録
授業抽選結果
教員情報照会
レポート提出
シラバス (大学)
シラバス (短期大学)
シラバス (大学院)
就職活動支援

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。)

◎ リンク集へ

My Schedule

日 週 月

先週へ /01/15(日)~ /01/21(土) 週へ

01/15(日) 01/16(月) 01/17(火) 01/18(水) 01/19(木) 01/20(金) 01/21(土)

(開始)集中補講 (終了)集中補講

新しく予定を登録する

「履修登録」履修登録入力画面へ
残席のある抽選科目は、こちらから登録します。

「授業抽選結果」をクリックする。

2、抽選結果を確認します。

抽選結果（当選／落選）を確認します。抽選にもれた場合は、単位が不足していないか確認してください。
「印刷」をクリックすると、表示内容がPDF出力され、印刷・データ保存できます。
「閉じる」をクリックするとトップページに戻ります。

抽選結果発表後、残席がある抽選科目は、履修登録入力画面で登録できます。
同じグループ内で2つ以上の授業を履修したい方、落選して登録したい方は登録してください。
履修登録完了した方から、先着順で授業の定員まで登録されます。
履修登録完了した時点で、定員を超えてしまった場合は、登録できません。
残席は、他の学生の履修取消により変動します。

画面1 抽選授業結果確認

Active Academy

トップページ 掲示板 Web申請 授業支援 就職活動支援 アンケート My Information ログアウト

■ 抽選授業結果確認画面

平成■■年度 後期

抽選の申請および結果は以下の通りです。

「印刷」をクリックすると、表示内容を印刷・データ保存できます。

トップページに戻る。

印刷 閉じる

外国語系科目

抽選結果	希望順位	授業コード	授業科目名	担当教員名	期間	曜日・時限	単位
落選	第1希望	3203A	英語Ⅰ	◎◎ 太郎	通年	火曜1限	2
当選	第2希望	3221A	ドイツ語(初級)	◎◎ 春子	通年	火曜2限	2
未抽選	第3希望	3236A	中国語(初級)	◎◎ 夏子	通年	火曜1限	2

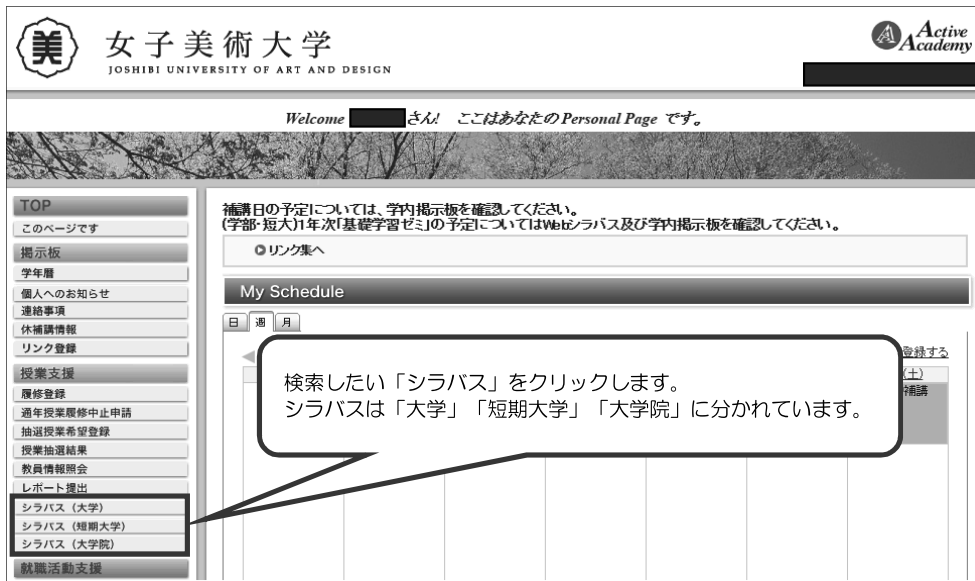
抽選結果

閉じる

ポータルサイトの利用が終わったら、画面の「ログアウト」をクリックして終了します。

■授業支援システム 《シラバス閲覧》

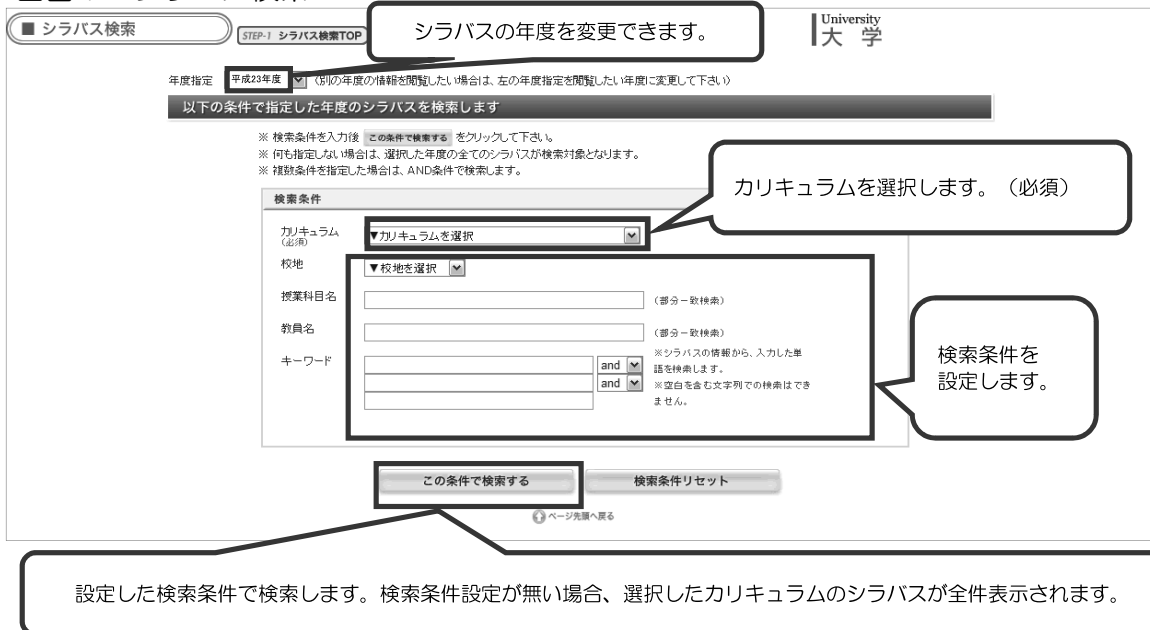
1、ポータル画面より、シラバス閲覧を起動します。



2、シラバス検索条件を入力します。

シラバスを閲覧する科目の検索条件を入力して、「この条件で検索する」をクリックします。カリキュラムは必須入力項目となります。

画面1 シラバス検索



【検索条件】

項目名	必/任	説明
カリキュラム	必須	カリキュラムを選択します。
校地	任意	校地を選択します。
授業科目名	任意	授業科目名を入力します。部分一致検索となります。
教員名	任意	教員名を入力します。部分一致検索となります。
キーワード	任意	シラバスの、授業科目名、開講期間、配当年、単位数、授業形態、担当教員名、授業内容、授業計画の中に入力された単語を検索するための、キーワードを入力します。

■授業支援システム 《シラバス閲覧》

3、シラバスを表示します。

検索結果一覧が表示されるので、閲覧するシラバスの授業科目名をクリックします。
科目区分で絞り込み検索をする場合は、閲覧したい区分を選択し、「科目区分で検索」をクリックします。

画面2 検索結果一覧

授業支援システム SYLLABUS検索システム

シラバス検索 検索結果一覧 STEP-1 シラバス検索TOP

検索された授業科目一覧です

現在の検索条件 授業科目名: / 教員名: / キーワード: /

絞り込み検索

科目区分 E群 科目区分で検索

検索結果8件が該当しました。

授業科目名	開講期間	配当年	単位数	授業形態	担当教員	校地
基礎学習ゼミ	前期	1年次	2単位	講義		杉並校地
ファンダー論	前期	1年次	2単位	講義		杉並校地
国際留学プログラム	通年	1年次	2単位	演習		杉並校地
サーピス・ラーニング	通年	1年次	2単位	演習		杉並校地
サーピス・ラーニング	*	1年次	2単位	演習		杉並校地
キリア形成(前期)	前期	1年次	2単位	講義		杉並校地
キリア形成(後期)	後期	1年次	2単位	講義		杉並校地
インターシップA~D	通年	1年次	1~4単位	実技		杉並校地

画面3 授業内容

「シラバス検索TOPに戻る」で、画面1 シラバス検索に戻ります。
「検索結果一覧に戻る」で、画面2 検索結果一覧に戻ります。
「ページの先頭に戻る」で、画面3 授業内容画面の先頭に戻ります。

授業支援システム SYLLABUS検索システム

シラバス検索 授業内容 STEP-1 シラバス検索TOP STEP-2 検索結果一覧 STEP-3 授業内容

University 大学

選択した授業科目の内容です 平成 年度 操作ボタン

授業科目名 : 国際留学プログラム 授業コード : 25091 2509A
英文科目名 : *

開講期間	配当年	単位数	授業形態
通年	1~4年次	2単位	演習

担当教員

杉並校地 2010~年度入学生対象 E群

科目キーワード 海外大学における研修または留学を通じて異文化の中で芸術表現や研究活動を展開し、国際感覚を涵養する。

授業内容1 (1) 本学が企画する海外大学における研修で、現地の授業時間数が60~90時間(授業の方法を問わず30~45時間の授業をもって1単位とする)のカリキュラムを履修する。
(2) 本学の学術交流協定大学において協定海外留学生として、夏期休業期間中又は春期休業期間中に延べ60~90時間(授業の方法を問わず30~45時間の授業をもって1単位とする)の現地授業科目を履修する。

授業内容2

授業計画 カリキュラムまたは現地授業科目により異なる。詳細は募集説明会や出国前オリエンテーション等で解説する。

到達目標 異文化の中で芸術表現や研究活動を展開すること。言語運用能力高め、言葉によるコミュニケーションの重要性を認識すること。将来、長期の海外留学を希望する者は、留学生活における基本行動様式を身につけること。

授業以外の学習方法 (予習・授業準備・復習等) 出国前から研修先または留学先言語の運用能力を向上させる学習を欠かさないこと。現地の芸術、文化、伝統、人の思考方法や生活様式に関心をもち理解を深めることで、より充実した学習期間を過ごすことができる。

履修者への注意事項 ※履修について
○研修プログラムや留学プログラムが実施される場合は、指示板を通じて通知する。
○研修プログラムや留学プログラムは入校制限があるため、抽選または選抜試験を行うことがある。
○単位取得を希望する場合は、研修または留学の終了後に履修登録を申請すること。

外国で学習するために最も必要なことは、身体と精神の健康を保つことである。健康管理に努め、自分なりのストレス解消法を身につけておくことが望ましい。また、日本と社会環境が違う外国での生活では、トラブルや各種危険の管理に配慮することは極めて重要であり、「自分の身は自分で守る」という大原則を常に意識してほしい。

評価方法 (1) 研修先または留学先の教員の学習評価書75%、提出レポート25%
(2) 上記(1)による成績評価が困難な場合は、「海外芸術プログラム」としての単位のみを認定する。

テキスト 研修先または留学先でテキストが指定され、また、プリント類が配布されることがある。

参考文献・参考作品 特になし。募集説明会や出国前オリエンテーション等で紹介することがある。

参考リンク

画面1 シラバス検索に戻ります。

画面2 検索結果一覧に戻ります。

このページの先頭に戻ります。

ポータルサイトの利用が終わったら、画面右上の「ログアウト」をクリックして終了します。

■授業支援システム 《Web レポート提出の手順について》

一部の科目において、Web上でレポート提出を行います。Active Academyから提出及び提出状況確認ができます。

【Webレポート提出時の注意事項】

- ・ 毎日(AM)2:00~7:30はシステムメンテナンスのため停止しており、Active Academyへの接続は出来ません。
- ・ 指定されたレポート提出期限当日(特に締切直前の時間帯)は回線が混雑し、期限までに間に合わない恐れもありますので、余裕をもって提出するようにしてください。
- ・ あらかじめブラウザのポップアップブロック機能を解除した上で操作をしてください。
- ・ ファイル形式、ファイル名、ファイルサイズには制限があります。

※回線の混雑や操作ミス等、理由に関わらず教育支援センターでは提出を受け付けません。

●Webレポート提出操作の流れ

1. ポータルサイト「Active Academy」TOPページより、「レポート提出」をクリックし、情報を確認します。

補講日の予定については、学内掲示板を確認してください。
(学部・短大)1年次「基礎学習ゼミ」の予定についてはWebシラバス及び学内掲示板を確認してください。

○ 新しいレポートがあります ○ リンク集へ

My Schedule

先週へ 2016/04/24(日)~2016/04/30(土) 翌週へ

04/24(日)	04/25(月)	04/26(火)	04/27(水)	04/28(木)	04/29(金)	04/30(土)
	16:40~18:10 現代美学 [S133]	13:20~14:50 空間演出論 [S133]	13:20~14:50 政治学 [S1046]		昭和の日	

「レポート提出」をクリック

新着のレポート課題がある場合に表示されます。

2. レポート提出する授業を選択します。

履修している授業のうち、教員がWeb上でレポート提出を設定した授業科目の一覧が表示されます。

(授業科目名、開講学期、曜日時限、担当教員名、レポート名、レポート番号、提出先、掲載日、提出期限、提出日、提出状況)内容を確認し、作成したレポートを添付(アップロード)します。

講義レポート レポート一覧

STEP-1 レポート一覧 STEP-2 レポート提出

新着	授業科目名	開講学期	曜日	時限	担当教員名	レポート名	レポート番号	提出先	掲載日	提出期限	提出日	提出状況
新規	現代美学	前期	月曜日	5時限		レポート課題について	1622433A001	Web	28年04月28日	28年05月15日		未提出

提出を行う授業科目名の「レポート名」をクリックすると、レポート提出画面へ移ります。

レポートの内容を確認
授業名・レポート名・提出期限・
課題内容・提出方法・添付ファイル・備考

「ファイルを添付」をクリックし、
レポートのデータを添付します。

3. アップロード(添付)するレポートのデータを選択します。

「ファイルを添付」ボタンをクリックすると、「ファイルのアップロード」画面が別に表示されます。

【注意】ファイル添付(アップロード)上の注意

- ・ 1 **ファイル5MBまで**のファイルを最大3ファイルまで。同一ファイルの複数アップロード不可。
- ・ 容量が大きいファイルを指定すると「ページを表示できません。」画面が表示される可能性があります。表示された場合はウィンドウを閉じてやり直して下さい。
- ・ **PDF(pdf)、Word(doc、docx)ファイルのアップロードが可能です。ファイル名は全角27文字(半角55文字)以下にしてください。**

【備考】ファイルアップロード画面が表示されない場合

各自で利用している**ブラウザ(chrome、safari、Fire fox等)の設定からポップアップブロック機能を解除してください。**

① 「ファイルを選択」をクリックし、作成したレポートのデータを選択

② レポートのデータを選択したら、「アップロード」ボタンをクリック

③ 「アップロードをしました」とメッセージが表示されます。
【注意】この時点ではまだレポート提出は完了していません

④ 添付が完了した場合→「閉じる」ボタン
他にも添付する場合 →「続けてアップロード」ボタンをクリック

4. 添付したレポートのデータを提出します。

レポートファイルの添付が全て完了したら、レポートを提出します。

「レポートを提出する」をクリック

「レポート提出を完了しました」と表示されたら提出完了です

5. レポートが提出されていることを確認します。

ポータルサイトTOPページより、「レポート提出」をクリックし、提出状況が”提出済”となっているかを確認します。

「提出済」と表示されているか必ず確認

新着	授業科目名	開講学期	曜日	時間	担当教員名	レポート名	レポート番号	提出先	掲載日	提出期限	提出日	提出状況
NEW	現代美学	前期	月曜日	5 時限		レポート課題について	1622433A001	Web	28年04月28日	28年05月15日	28年04月28日	提出済

※レポートを再提出したい場合

レポートの再提出は、**教員が設定した提出期限内**であれば提出可能です。(提出方法は初回提出時と同じです。)

【注意】再提出した場合は前回提出したレポートのデータは全て破棄されますので、注意してください。


例: 最初に複数のレポートデータを提出し、その後提出した内の1つのレポートだけを再提出する場合、再提出するレポートと一緒に、必ず前回提出した他のレポートも同時に提出してください。



Q1. ファイルアップロード画面で「ファイル選択」ボタンを押しても画面が開かない。

A1. ①新たに別のタブが開いていないか確認してください。ブラウザをフルスクリーンの状態にしているとタブとして開く場合があります。

→ ②インターネットブラウザのポップアップブロックを解除してください。
解除方法はブラウザやPCのOSまたはそれらのバージョンによって異なります。以下の方法でできなければ、インターネットで「ポップアップブロック解除 Safari(←使用しているブラウザ名やPCのOSを入力)」で調べてください。

 (Safari)

1. トップメニューから「Safari」をクリックして「環境設定」を選択します。
2. 「Webサイト」タブをクリックします。
3. 左側の「一般」下にある「ポップアップウィンドウ」を選択します。
4. 右下にある「これ以外でのWebサイトでのデフォルト設定」のドロップダウンをクリックします。
5. 「許可」を選択します。

 (Mozilla Firefox)

1. ブラウザ右上にある「ツール」メニュー(三本線)を開きます。
 2. 「オプション」をクリックします。
 3. 「コンテンツ」タブをクリックします。
 4. 「ポップアップウィンドウをブロックする」のチェックを外します。
- 2,3が表示されない場合は、「コンテンツブロッキング」をクリックして、「許可設定」のメニューに移動します。

 (Google Chrome)

1. パソコンで Chrome を開きます。
2. 右上のその他アイコン: > [設定] をクリックします。
3. 下の [詳細設定] をクリックします。
4. [プライバシーとセキュリティ] の [サイトの設定] をクリックします。
5. [ポップアップとリダイレクト] をクリックします。
6. 上部の設定を [許可] に切り替えます。

 (Internet Explorer)

1. Internet Explorerの画面右上にある歯車アイコンをクリック。
2. 「インターネットオプション」をクリック。
3. 「プライバシー」タブをクリックし、「ポップアップブロックを有効にする」のチェックを外します。

 (Microsoft Edge)

1. Microsoft Edge [詳細] アイコン ... をタップします。
2. 「詳細」一覧が表示されます。[設定] をタップします。
3. 「設定」一覧が表示されます。「詳細設定」欄の [詳細設定を表示] をタップします。
4. [ポップアップをブロックする] 欄のつまみをタップし、オフに切り替えます。

Q2. アップロード時点で、「このファイルは文字化けする可能性があるのでファイル名を変更してください」のエラーメッセージが出る。

A2. ①インターネットブラウザをSafariに変えて試してください。Mozilla FirefoxやGoogleChromeの場合、上記のメッセージが出てしまう現象が見受けられます。

②①でも解消されない場合、可能であれば(レポートファイル名に指定された条件が特でない場合)ファイル名を変更してください。

濁音(ガザダバ行の音)や半濁音(バ行音)が含まれているとエラーが出てしまう可能性があります。

①②でもアップロードできない場合は教育支援センターまでご連絡ください。

Q3. アップロードしようすると、「ページを表示できません。」画面が表示される

A3. ファイルの容量が1ファイル5MBを超えていませんか？1ファイル5MBまでのファイルを最大3ファイルまでしかアップロードできません。

→ ファイルが複数ページにわたる場合は、3つのファイルに分割してそれぞれアップロードし、提出画面の「先生へのメッセージ」にその旨を記載してください。

Q4. 「レポートを提出する」ボタンをクリックしても次の画面に進めません。

A4. ファイル名を全角27文字(半角55文字)以下にしてください。

Web 出欠登録の手順について

●はじめに ～Web出欠登録について～

【スマートフォン出欠登録専用サイトについて】

- ・女子美術大学では、講義系授業科目における出席の届け出について「Web出欠管理システム」を導入しています。
- ・各自で出欠登録専用サイトへログイン&出欠登録を行うことで、授業科目毎の出欠情報がActive Academyの「出席簿」へ自動で登録されるため、出欠状況をリアルタイムに確認・把握する事が可能となります。

出欠登録専用サイト
QRコード



【ログインページについて】

(出欠登録専用サイトのURL) <https://aa.joshibi.net/attend/>

- ・スマートフォン・タブレット端末・PCからアクセス可能です。 ※QRコードでの接続も可能です。
- ☞上記URLをブックマーク(お気に入り登録)しておくと、次回より登録作業がスムーズになります。

【ユーザーIDとパスワードについて】

- Active Academyにログインする際に使用するユーザーID、パスワードと同じです。
- ユーザーIDとパスワードを忘れてしまった場合は、下記「図書美術館グループ」までお問合わせください。
- ・杉並キャンパス2号館B1階
- ・相模原キャンパス3号館(図書館)3階



【出欠登録時における注意事項について】

- ・出欠登録の際、毎回特定のパスワードを入力する必要があります。
- ☞パスワードは授業開始前に担当教員より告知されるので、よく注意して確認してください。
- ・出欠登録は制限時間内に行う必要があります。
- ☞出欠登録時間外は「遅刻」または「登録時間外」となりますので、パスワードを確認次第、早急に登録してください。

●出欠登録作業の流れについて

1. スマートフォン専用の出欠登録専用サイトに接続します。

(例：iPhoneを使用する場合)

- ①インターネットに接続したら、ブラウザアプリ(Safari等)で、出欠登録専用サイトにアクセスしてください。
<https://aa.joshibi.net/attend/> (※URLの打込み間違いに注意！) ※QRコードでの接続も可能です。
- ②ログイン画面が表示されたら、ユーザーIDとパスワードを入力してください。(図2)

出欠登録専用サイト
QRコード



図.2 ログイン画面

正常にログインすると
出欠登録画面が表示されます。
(図.3)

Active Academyにログインする際に使用するユーザーID、パスワードと同じです。

正常にログインが出来なかった場合・・・(図.4)

図.4 エラー画面

図.3 出欠登録画面

自身の学籍番号・氏名で
表示されているか確認してください。

- ・各自で履修登録している、1週間分の授業情報(講義科目)のみ一覧で表示されます。
- ・週の表示は日曜始まりとし、日曜になると翌週の表示に変わります。
- ・ここで表示される内容は下記の通りとなります。
①学籍コード ②氏名 ③日付 ④曜日 ⑤教室名[] ⑥担当教員

【エラー原因について】

- ・インターネットに正しく接続されているか確認をしてください。
- ・接続が混雑している可能性がありますので、少し時間を空けて再度ログインを試みてください。

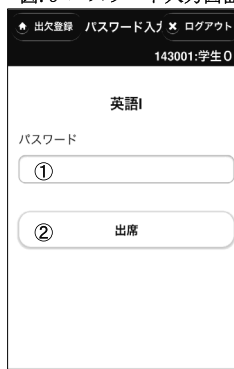
3. 出席する授業のパスワードを入力し、登録を完了します。

図.3 出欠登録画面



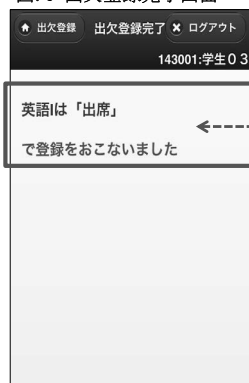
出欠登録画面(図.3)で、出席する授業名を選択するとパスワード入力画面に遷移します。(図.5)

図.5 パスワード入力画面



正しいパスワードを入力した場合、「〇〇(科目名)は「出席」で登録をおこないました」と表示されます。(図.6)

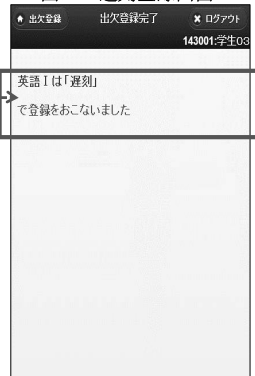
図.6 出欠登録完了画面



①「パスワード」入力欄に担当教員から事前に告知された指定のパスワードを入力します。(図.5)
②「出席」ボタンを押してください。

出欠登録時間外に登録した場合・・・

図.7 遅刻登録画面



出欠登録時間外に登録した場合、「〇〇(科目名)は「遅刻」で登録をおこないました」と表示されます。(図.7)

図.8 出欠登録画面



出欠登録画面に戻ると、出欠登録した授業の时限の横に登録状態(出席・遅刻・欠席)が表示されます。(図.8)

※無線接続時の混雑回避の為、作業終了後は必ずログアウトし、当該サイトの接続を終了するよう、ご協力ください。

以上でスマートフォン専用サイトによる出欠登録作業は終了です。各自、Active AcademyのMyInformation-個人情報-「出欠情報」にて出席状況を確認してください。

Q & A

履修登録について

- Q.** 後期の科目も前期に履修登録するのですか。
- A.** その通りです。きちんと履修計画を立てて登録してください。
- Q.** 同一名称の科目を複数履修登録できますか。
- A.** 履修の手引 P.20を参照してください。
- Q.** 1年間で履修できる単位数はいくつですか。
- A.** 履修の手引 P.12を参照してください。
- Q.** 履修している科目を中止したいのですが、できますか。
- A.** 履修の手引 P.21を参照してください。
- Q.** 以前に単位修得した科目を、再度、履修することはできますか。
- A.** 単位修得した科目を、再度、履修することはできません。
詳細については、P.20を参照してください。
- Q.** 現在2年次生で、教職課程を取っていますが、1年次の教職科目の単位を修得できませんでした。2年次で再履修することはできますか。
- A.** 時間割上再履修が可能な場合に限り、2年次に再履修可能ですが、在学中の免許取得ができなくなります（一部科目を除く）。詳細については教育支援センターまでご相談ください。

WEB履修について

- Q.** アクティブ・アカデミーのパスワードを紛失した場合はどうしたらよいですか。
- A.** 2号館地階の図書館カウンターまで申し出てください。
- Q.** 抽選登録するのを忘れた場合はどうしたらよいですか。
- A.** 抽選結果発表後、残席のある科目を先着順で履修登録できます。ただし、基礎造形を登録し忘れた場合は至急、教育支援センターに申し出てください。
- Q.** 取りたい科目がポータルサイトの画面上に表示されません。
- A.** 次のことをまず確認してください。
- ・曜日時限は合っているか。
 - ・過去に単位修得した科目ではないか。
 - ・科目の年次指定で、自分の学年が対象になっているか。
- 上記にあてはまっていて表示されない場合は、システムエラーの可能性があるので、教育支援センターに連絡してください。
- Q.** アクティブ・アカデミーの「お知らせ・連絡事項・休講情報」は携帯電話への転送設定ができますか？
- A.** 可能です。設定することをおすすめします。詳細は履修の手引 P.70を参照してください（プロフィール変更）。

Web 出欠登録について

Q. 自分のユーザー IDとパスワードが分からないor忘れてしまった場合…

A. 「図書美術館グループ」の情報システム担当(図書館事務室)までお問い合わせください。

Q. 学内Wi-Fiに接続出来たが、出欠登録専用サイトにアクセスできない場合…

A. 出欠登録専用サイトのURLを打ち込む際に、下記誤入力をしている場合が考えられますので、よく確認をしながらURLを打ち込んでください。

⇒よくある誤入力…【URLの最初、httpsの「s」が抜けている】、【「.」が抜けている】、【URLの最後に「/」を入れ忘れている】等

Q. 出欠登録完了後、出欠登録画面に【出席】と表示されたのに、後日Active AcademyのMyInformation－修学ポートフォリオ「出欠情報」で確認すると、出席になっていなかった場合

A. このような場合は、至急教育支援センターの窓口へ来てください。

【重要】出欠登録後、該当科目に【出席】が表示されたら、なるべくその場でActive Academyの出欠情報に反映されているか確認しておいてください。(※念のため、登録完了が表示された画面をスクリーンショット等で保存しておく、窓口で事情が説明しやすいかと思えます。)

Q. Google meetまたはclassroom等に接続できない(授業に参加できない)

A. デバイスや回線の不具合によるものが多く、大学側・教員側ではサポートすることが出来ない場合が散見されます。学生の皆さんはこれまでの経験を活かし、以下のように受講する体制を整えてください。

- ・出欠登録画面は時間に余裕を持って画面を開いておく
- ・主に使用するPCの他に、予備としてスマートフォンやタブレットにmeetやclassroomアプリケーションをインストールしておき、PCが不安定の際は他のデバイスからも接続できる状態にする
- ・主に使用するWi-Fi回線の他に、携帯電話の通信(4G等)回線を利用する(スマートフォンにも出欠登録画面をブックマークしておく)
- ・可能であれば、テザリングサービス(スマートフォンをWi-Fiルーターの代わりとする)を使用できるようにしておく

Q. 授業に出席しているにも関わらず、ActiveAcademyの出欠登録を忘れてしまった場合

A. 担当教員または教育支援センターに申し出があっても、自身の不注意や通信環境による出欠の未登録(欠席)、登録遅れ(遅刻)については一切対応致しませんので、そのようなことがないよう、くれぐれも出席登録を忘れないようにしてください。

Q. classroomのクラスコードが分からない場合…

A. 作成・運用は授業担当教員が行っているため、教育支援センターではクラスコードを把握していません。授業担当教員に確認してください。

Q. 課題や資料の配信は何を使用しているか。

A. Google classroom、Google forms、ActiveAcademy等の使用が考えられます。授業科目ごとに運用が異なりますので、課題の提出方法は、必ず担当教員の指示に従ってください。

その他

- Q. 授業を行う教室はどこでわかりますか。**
- A. 時間割表に記載があります。なお、教室が変更される場合もありますので、掲示板でも確認してください。
- Q. 授業概要(シラバス)を見たいのですが。**
- A. ポータルサイトのトップ画面に表示されている「シラバス」をクリックして、授業概要(シラバス)を検索してください(履修の手引 P.82を参照)。
- Q. 成績証明書に不合格科目の成績も記載されますか。**
- A. 成績証明書には単位修得した科目の成績のみ記載されます。
- Q. 親戚に不幸があったので、忌引きの手続きをしたいのですが。**
- A. 女子美には忌引きの制度はありません。ただし、追試験の理由には該当します(履修の手引 P.8, 13を参照)。
- Q. 実技時間帯に履修したい科目があるのですが、できますか。**
- A. 実技時間帯に他の科目を履修することは認められません。ただし、卒業年次生で卒業に必要な科目である場合、研究室の許可があれば認められることもあります。
- Q. 学期末試験に学生証を忘れました。**
- A. 教育支援センターの窓口で「受験許可書」を発行しますので、申し出てください。
- Q. ケガのため、1ヶ月程入院することになりました。何か手続きは必要ですか。**
- A. 特に手続きはありません。なお、欠席していた期間の授業内容については、担当教員に確認をしてください。
- Q. 自分の出席回数を知りたいのですが。**
- A. 出席回数は各自で記録して下さい。Webを利用して出席確認を行う授業は、ポータルサイト「修学ポートフォリオ」メニューから確認することができます。
- Q. オフィスアワーとは何ですか。**
- A. 先生に自由に質問、相談できる時間帯です。利用の一覧表は4月にポータルサイトで配信されていますので、参考にしてください。

※ポータルサイトにリンクしている「履修に関するQ&A」も参考にしてください。
https://www.joshiabi.net/aa/risyu_QA.pdf

2023 短期大学部 履修登録用時間割 下書き表

		前期	月	火	水	木	金	土
造形学科 実技時間帯	2年次	1時限						
		2時限						
	1年次	3時限						
		4時限						
		5時限						
		6時限						

		後期	月	火	水	木	金	土
造形学科 実技時間帯	2年次	1時限						
		2時限						
	1年次	3時限						
		4時限						
		5時限						
		6時限						

集中 など							

「集中など」の欄には実技系授業、集中授業、教育実習等を記入してください。

